

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(139)、(172)」

2. 日時：令和5年4月26日(水) 16時00分～18時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係
員、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 天野原子力土建部長
他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（追加
資料）

〈〈本年4月13日に受領済み〉〉

- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（補足
説明資料）
- ・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
00:00:05	はい、規制庁地震津波の鈴木です。それでは時間になりましたので、浜岡原子力発電所基準津波の策定の地震による津波について、
00:00:15	4月13日付で、
00:00:18	結成されたものを資料に、これは2回目ですかね、ヒアリングを始めたいと思います。資料の方は今申し上げた内容、ものでの4月13日付のもの。
00:00:30	あとは、本日追加ですかね追加資料ということで本日付のもの。
00:00:37	2種類ですね、提出ありますので、まずはこちらのもとに中部電力の方から説明をお願いします。
00:00:44	はい。中部電力浜野でございます。本日は、前回3月29日に実施させて頂き実施いただきました、基準津波策定のうち地震による津波についてということで、
00:00:56	特に基準津波策定方針なんかも冒頭に織り込んだ資料について、
00:01:03	資料の方を修正して参りましたのでご説明をさせていただきたいと思います。鈴木さんからご考証形通り、26日本日付で、もう少しわかりやすさの観点で追加した資料もありますので併せて、
00:01:16	説明をさせていただきたいと思います。およそ説明時間20分強ぐらいとなりますよろしくお願いいたします。
00:01:27	中部電力の加藤です。
00:01:28	浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち、地震による津波について、前回3月29日のヒアリングからの修正点について説明いたします。
00:01:38	説明は、表紙の日付が4月13日となっております本編資料を中心に行いまして、説明の途中で本日お配りしました、4月26日となっております日付けの追加資料についてもあわせて説明をいたします。
00:01:52	この追加資料の表紙をご覧いただきたいのですが、表紙の下のところに破線でお示ししております通り、こちらの資料は本編資料の6ページ、他に今後反映する予定でございます。
00:02:04	それでは本編資料からご覧ください。
00:02:06	まず2ページと3ページは本日の説明内容になります。
00:02:11	4ページが目次になります。
00:02:13	今説明しているこの本編資料は、前回のヒアリングの際には別冊となっておりましたものを、5ページから始まる基準津波の策定の論点に関する評価方針に織り込んで、
00:02:23	記載内容を統一したものになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:26	この中に今回基準、津波発生要因の組み合わせ方針に関する説明ページを追加しております。
00:02:33	6ページには、基準津波の策定の評価方針のうち、全体方針をお示ししています。
00:02:39	この全体方針に関して、お配りした追加資料の3ページの方をご覧ください。
00:02:48	こちらの追加資料の3ページにつきましては、基準津波の策定方針について、組み合わせ対象が一目でわかる資料が、全体方針としてあると良いというアドバイスをいただきまして、
00:02:58	それを踏まえて今回追加したものになります。
00:03:01	箱書きですが、
00:03:03	基準津波の策定にあたっては、地震規模が大きく、浜岡敷地への津波影響が支配的と考えられる、プレート間地震を中心として、プレート間地震及び、それと組み合わせるその他の津波発生要因について網羅的な検討を実施します。
00:03:17	ここで、その他の津波発生要因のうち、下の図で黄色の網かけで示している地すべり及び海域の活断層による地殻内地震について、
00:03:26	地すべりはプレート間地震の地震動により発生して津波が重なる可能性があること。
00:03:31	海域の活断層はプレート境界の宇和盤に位置しており、プレート間地震の破壊に伴い活動し、津波が重なる可能性を否定できないことを慎重に考慮し、それぞれプレート間地震との組み合わせを検討します。
00:03:44	一方で、下のグレーの網かけで示しております海洋プレート内地震及び加賀現象について、
00:03:50	海洋プレート内地震は、海域の活断層とは異なり、プレート境界の下盤にその断層が位置し、プレート間地震の破壊が伝播することは考えにくく、プレート間地震の津波と海洋プレート内地震の津波とが同時発生したことが確認された事例もないこと。
00:04:06	ただ現象はプレート間地震から離れた地域に、その波源が位置しておりまたプレート間地震の津波と火山現象の津波とは、同時発生することは考えにくく、それが確認された事例もないことから、
00:04:18	いずれもプレート間地震との組み合わせは検討せず、
00:04:21	敷地への津波影響がプレート間地震の津波と比べて小さいことを確認します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:27	参考に、右側の図に津波発生要因とプレート境界周辺のイメージ図をお示ししています。
00:04:34	本編資料の方に戻っていただきまして7ページをお願いします。
00:04:41	7ページですが、こちらには各津波発生要因の評価方針をお示ししています。
00:04:47	8ページには、論点に関する評価方針の変更についてお示ししています。
00:04:52	左が第1089回会合時点、右が今回の評価方針です。
00:04:58	今回、下段の津波発生要因の組み合わせに関する変更点として、プレート間地震と海域の活断層による地殻内地震の組み合わせを検討することとしました。
00:05:08	またこの評価方針の変更に伴い、上段の各津波発生要因の、
00:05:13	津波評価に関する変更点に示すように、海域の活断層による地殻内地震の津波評価についても、敷地への影響の観点から網羅的に検討を実施することとしました。
00:05:24	9ページは地震による津波の論点に関する評価方針。
00:05:28	10ページは津波発生要因の組み合わせの論点に関する評価方針になります。
00:05:34	11ページから19ページは、津波発生要因の組み合わせの論点に関する評価方針として、今回新しく追加した資料になります。
00:05:43	まず、11ページは、検討対象とする波源モデルの選定方針です。
00:05:48	浜岡で、敷地への影響が非常に市街的なプレート間地震の水位の時刻歴明を上段に示しています。
00:05:55	津波影響は、オレンジの線の範囲で示す、特に影響が大きい時間が特定の時間単位に限られ、その他の時間体の水位は相対的に小さいとの特徴を有しています。
00:06:05	また左の図に示すように、敷地前面海域には港湾や防波堤がなく、比較的一様な海岸線が広がっており、地形的要因によってプレート間地震とその他の津波発生要因の組み合わせの津波伝播状況が、
00:06:18	大きく変化しないと考えられます。
00:06:21	そこで、まずプレート間地震について。
00:06:24	敷地への津波影響が最も大きいケースを検討対象として選定し、次にその他の津波発生要因について、敷地への津波影響が最も大きいケースを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:34	プレート間地震の津波影響が特に大きい時間体における影響も大きいことを確認した上で、検討対象として選定し、
00:06:41	それらを組み合わせた津波評価を行います。
00:06:45	また組み合わせた津波評価の結果、一体計算によってプレート間の津波影響よりも大きく、或いは同程度となっていることを確認します。
00:06:54	なお津波評価の結果、一体計算の影響等によってプレート間の津波影響よりも小さくなった場合には、検討対象としたもの以外のものも検討します。
00:07:05	12 ページは、津波を発生させる時間差の検討方法です。
00:07:10	海底地すべり海域の活断層は、プレート間地震の地震動を起因として、海底地すべり等の地点に地震動が到達する時間、PS から当該地点での地震動継続時間、
00:07:22	TD の時間範囲 T_s から TDT_s プラス T で発生するものとし、
00:07:27	この時間範囲を、下のグラフには、青もしくは緑のハッチングで示しておりますが、
00:07:32	この範囲における組み合わせ時間差の網羅的なパラメータスタディを、津波の周期よりも短い間隔 30 秒間隔から、十分短い間隔 3 秒間隔まで段階的に一体計算により実施します。
00:07:46	一体計算によるパラメータスタディにあたっては、津波発生要因の組み合わせケースが基準津波となることから、計算負荷は大きくなりますが、梶浦 1963 を考慮します。
00:07:57	またパラメータスタディ結果及びその傾向分析により、
00:08:01	パラメータスタディが網羅的に行われていること。
00:08:04	津波発生要因の組み合わせの結果として、敷地に最も影響の大きい津波が選定できていることを確認します。
00:08:12	13 ページから 15 ページには、それぞれプレート間地震、海域の活断層による地殻内地震、
00:08:19	及び地すべりの津波評価結果をお示ししています。
00:08:23	16 ページからは、検討対象とする波源モデルの選定について説明します。
00:08:29	16 ページは、水位上昇側のうち、敷地前面地点に関するものになります。
00:08:34	左側の 8K に示すプレート間地震による敷地前面の水位は、
00:08:39	地震発生後 20 分頃の押し波で最大値が発生し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:43	その他の時間体の水は相対的に小さくなっています。
00:08:47	オレンジの線で示す敷地前面に及ぼす影響が大きい時間体は、いずれの基準断層モデルでもほぼ同じであり、
00:08:54	基準断層モデルの違いが津波の組み合わせに与える影響は小さいと考えられることから、
00:09:00	プレート間地震の津波評価の結果、最も敷地前面の影響の大きい基準断層モデル 1-1 を検討対象として選定します。
00:09:09	中央に示す、海底地すべりと右側にします海域活断層による地殻内地震については、それぞれ敷地連盟の影響が最も大きい s26 地点の海底地すべり、
00:09:21	御前崎海脚西部の断層体の地震を、オレンジの線で示すプレート間地震の津波影響が大きい時間体における影響も大きいことを確認した上で、検討対象として選定します。
00:09:34	次の 17 ページは、水位上昇側のうち、取水槽地点に関するものになります。
00:09:40	取水槽の水位は、地震発生後 20 分頃の押し波で最大値が発生し、その他の時間体の水位は相対的に小さくなっています。
00:09:49	取水槽に及ぼす影響が大きい時間体は、いずれの基準断層モデルでもほぼ同じであり、基準断層モデルの違いが津波、津波の組み合わせに与える影響は小さいと考えられることから、
00:10:00	最も取水層への影響が大きい基準断層モデル 3-2 を検討対象として選定します。
00:10:07	また中央と右側の海底地すべり、海域の活断層による地殻内地震については、敷地前面と同様の考え方により、それぞれ S26 地点の海底地すべりと、
00:10:18	御前崎海脚西部の断層体の地震を検討対象として選定します。
00:10:23	18 ページは水位下降側についてになります。
00:10:26	左側のプレート間地震の津波による取水塔の水位低下時間は、地震発生後 60 分頃の引き波で最大値が発生し、その他の時間体の水位低下時間は相対的に小さくなっています。
00:10:39	一方、海底地すべり、海域の活断層による地殻内地震の津波は、それぞれの津波評価の結果、いずれの津波もプレート間地震の津波影響が大きい時間体において、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:50	取水塔呑み口の水位を下回らず、水位低下時間が発生していないとともに、その水位変動はプレート間地震による取水塔呑み口下端レベルを挟んだ、水位低下、回復の水位変動に対して小さいことから、
00:11:04	プレート間地震との組み合わせが、水位低下時間に与える影響は小さいと考えられます。
00:11:09	そのため、プレート間地震との組み合わせによる取水と水への影響を確認し、必要に応じて検討対象を選定します。
00:11:18	ここで追加資料の4ページをお願いいたします。
00:11:28	追加資料の4ページには、
00:11:30	プレート間地震と海洋プレート内地震の組み合わせに関する考え方をお示ししています。
00:11:35	上の図に示す通り、プレートプレート境界の下盤に位置する海洋プレート内地震については、プレート間地震の破壊が伝播することは考えにくく、その下の南海トラフや東北沖地震の津波インバージョンモデルの例に示す通り、
00:11:49	既往地震において、プレート間地震の津波と海洋プレート内地震の津波とが同時発生したことが確認された事例もないため、
00:11:56	海洋プレート内地震について、プレート間地震との組み合わせは検討せず、敷地への津波影響がプレート間地震の津波と比べて小さいことを確認することとしています。
00:12:07	再度本編資料を戻っていただきまして19ページをお願いいたします。
00:12:16	19ページには、海域の活断層の評価方針について、
00:12:20	論点に関する評価方針の変更内容についてお示ししています。
00:12:24	中段の箱書きの分岐断層地殻内地震として考慮する活断層の選定についてですが、
00:12:31	敷地周辺の海域の活断層について、文献調査、詳細な地形調査及び音波探査記録による検討を実施し、分岐断層とされる知見があり、顕著な地形的高まりとの関連が認められる海域の活断層は、
00:12:44	プレート間地震に伴う分岐断層として選定します。
00:12:48	それ以外の分岐断層とされる知見がなく、顕著な地形的高まりとの関連が認められない海域の活断層は、
00:12:55	地殻内地震として考慮する活断層として選定します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:59	分岐断層については、下の左の箱書きの通り、プレート間地震の津波評価において、プレート境界面の破壊が宇和盤に位置する分岐断層に伝播することを考慮した津波評価を実施します。
00:13:12	一方地殻内地震として考慮する活断層については、右下の箱書きの通り、
00:13:17	海域の活断層による地殻内地震の津波評価において津波評価を行います。
00:13:22	またこれらの活断層は、プレート境界面の破壊が伝播する可能性は低いと考えられますが、
00:13:28	プレート境界の宇和盤にその断層が位置しており、
00:13:31	プレート間地震の破壊に伴い活動し、発生する津波が重なる可能性を否定できないことを慎重に考慮し、
00:13:38	津波発生要因の組み合わせにおいて、プレート間地震と海域の活断層による地殻内地震の組み合わせを考慮します。
00:13:46	20 ページからは地震による津波の評価概要について説明いたします。
00:13:52	21 ページから 25 ページは、それぞれの津波評価の全体概要について、ここまで説明してきました評価の変更を反映したものになります。
00:14:01	26 ページからですが、
00:14:04	26 ページには、浜岡の概要をお示ししております。
00:14:09	次の 27 ページは、敷地周辺の既往津波の調査結果になります。
00:14:14	27 ページの表の一番下に記載した T 火山噴火について、
00:14:19	前は津波高のところをバーで表現しておりましたが、佐口さんからのご確認を踏まえまして、数値を記載するようにしました。
00:14:26	表の下の※3 の注釈の部分ですが、本事象に伴う潮位変化は、大気中を伝播する波による影響が支配的であったと考えられており、
00:14:35	基準津波の策定において評価している海面を伝播する津波とはやや異なることから、括弧書きで表記するようにしました。
00:14:44	28 ページは本日の説明ページになりまして、火山現象による津波の資料から抜粋して掲載しております。
00:14:51	ここで箱書きの下の注釈の 4 行目からですが、
00:14:55	前回ヒアリングヒアリングでの山下さんからのご指摘を踏まえまして、
00:14:59	この火山噴火により発生した気圧に起因する長変化は、一般的な理解、
00:15:05	一般的な理解のしやすさの観点から、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:07	津波警報注意報等の一連の情報発信の中では、津波と呼ぶこととされているということを引用しております。
00:15:15	ページが飛びますが 59 ページをお願いします。
00:15:30	59 ページの一つ前の 58 ページには、海洋プレート内地震の津波評価の波源モデルの設定についてお示しをしておりますが、
00:15:38	この中の断層長さ等のパラメータの設定根拠である、パークアンド盛 2005 に関する資料を 59 ページに追加しました。
00:15:47	またページが少し飛びますが、66 ページをお願いします。
00:16:00	66 ページですが、海洋プレート内地震の波源位置に関する検討について、前回のヒアリングでは、敷地前面地点の結果のみを掲載しておりましたが、今回、全評価地点の結果を記載し、
00:16:13	赤のハッチングで示すように、各評価地点の最大値を網羅するように代表ケースを複数選定することとしました。
00:16:20	波源位置に関する検討における選定の考え方につきましては、一つ前の 65 ページにお示ししており、こちらはプレート間地震による津波と同じ考え方となります。
00:16:31	67 ページには、66 ページの水位上昇がの評価結果についてグラフでお示ししております。
00:16:38	また 68 ページには水位下降側の評価結果とグラフを同様にお示ししております。
00:16:44	69 ページは、海洋プレート内地震の津波評価結果のまとめになります。
00:16:49	代表ケースを複数選定したことに伴い、水位上昇側の選定ケースが増えています。
00:16:55	また、比較対象として示したプレート間地震の津波の評価結果は、
00:16:59	前回佐口さんからのご確認を踏まえまして、パラスタ実施前の基準 1 のものに変更しております。
00:17:06	70 ページから 71 ページには、海洋プレート内地震の津波評価結果について、最大水位分布図と時刻歴は形をお示ししています。
00:17:16	72 ページからは、海域の活断層による地殻内地震の津波評価について説明します。
00:17:22	73 ページは評価の概要ですが、19 ページの海域の活断層の評価方針のへ記載を反映しています。
00:17:31	74 ページは、活断層の調査結果。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:34	75 ページは、地震動の資料の方の再掲になりますが、分岐断層の選定結果に関する資料を追加しております。
00:17:41	またこの詳細に関する説明ページを、別冊の補足説明資料の 5 章の方に追加しております。
00:17:49	77 ページから 79 ページは、海域の活断層による地殻内地震の波源モデルの設定をお示ししております。
00:17:57	これらの断層パラメータの設定根拠は、80 ページから 82 ページに追加をしております。
00:18:04	86 ページをお願いします。
00:18:14	86 ページですが、今回海域活断層の地震による津波について、パラスタを行うこととしたため、その検討方針と設定条件を示しています。
00:18:24	設定した海域の活断層による地殻内地震の波源モデルについて、活断層調査結果及び土木学会 2016 に基づき、その傾斜角、滑り角、
00:18:34	断層上端深さの組み合わせのパラスタを実施し、断層モデルごとに、敷地への影響が最も大きいケースを選定しました。
00:18:42	各パラスタ項目の設定方法は表の通りになります。
00:18:46	一番上の傾斜角は、同一断層内及びその周辺の同タイプの断層の場所ごとの傾斜角の違いを考慮して、
00:18:54	基準とする傾斜角 $\pm 10^\circ$ の範囲で設定しました。
00:18:59	その下の滑り角は、同一断層内の場所ごとの水平、上下方向の変位量の違い。
00:19:05	及び敷地周辺のプレートの沈み込み方向の違いを考慮し、基準とする滑り角 $\pm 10^\circ$ の範囲で設定しました。
00:19:14	一番下の断層上端深さは土木学会 2016 に基づき、深さ 0 から 5 キロの範囲で設定しました。
00:19:22	87 ページは、
00:19:24	傾斜角のパラスタの設定方法についてです。
00:19:27	御前崎海脚西部の断層体と、後 18 断層の傾斜角のパラスタに関して、音波探査断面から傾斜角は確認できる御前崎海脚西部の断層体。
00:19:38	及びその周辺の御前崎海脚東部の断層体牧ノ原南里大野断層の海域活断層の調査結果の図表に示す通り、
00:19:46	これらの断層の傾斜角は浅部で 60 から 65 度、深部で 35 から 45 度と、場所により 5 から 10 度程度の違いが認められます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:57	これを踏まえて、御前崎海脚西部の断層体に関して、傾斜角のパラスタは $\pm 10^\circ$ の範囲で検討することとしました。
00:20:06	また調査範囲においては、地下深部に連続する断層が認められない。518断層に関しては、これらの断層の周辺に分布する同タイプの逆断層である。
00:20:16	御前崎海脚西部の断層体と同様に、 $\pm 10^\circ$ の範囲で検討することとしました。
00:20:23	88ページは、遠州断層系の傾斜角についてになります。
00:20:28	箱書きの1ポツ目について、
00:20:30	東海沖の海底活断層1999の調査結果によると、遠州断層系の傾斜角は約82から90度と、場所により8から10度程度の違いが認められると記載しておりますが、
00:20:42	8から10度程度ではなく、正しくは約8度程度となります。
00:20:47	これを踏まえて、遠州断層系に関して、傾斜角のパラメータスタディは $\pm 10^\circ$ の範囲で検討することとしました。
00:20:56	89ページは、滑り角のパラスタの設定方法です。
00:21:00	滑り角のバランスに関して、南海トラフの海域の活断層の滑り方向は、左の図に示す南海トラフに沈み込むフィリピン甲斐プレートの沈み込み方向によって規定されると考えられます。
00:21:13	このフィリピン甲斐プレートの沈み込み方向は、海域の活断層の周辺では、場所による違いは小さいものの、数度程度の違いが認められます。
00:21:22	また、遠州断層系については、東海沖の海底活断層199により、変位地形や音波探査断面に基づいて、右の表の通り、断層の水平変位量と、
00:21:34	上下変位量が推定されており、これによると、遠州断層系の滑り方向は、水平面に対して3から7度程度と推定されます。
00:21:42	これらを踏まえて、滑り角のパラスタは $\pm 10^\circ$ の範囲で検討することとしました。
00:21:49	90ページには、パラスタにおける選定ケースの考え方を示していますが、
00:21:54	こちらもプレート間地震による津波と同様の考え方で選定することとしています。
00:22:00	91ページから101ページにかけて、各波源の水位上昇側、水位下降側のパラスタ結果の詳細をお示ししております。
00:22:09	91ページを例に内容を説明しますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:12	御前崎海脚西部の断層体の地震の波源モデルについて、水位上昇側のパラスタの評価結果を表にお示ししております。
00:22:20	それぞれの評価地点における最大値を赤字で示しており、小数第一位までの津波高から、
00:22:26	敷地前面において最大値を持つケースが3ケース。
00:22:30	すべての取水槽において最大値を持つケースが2ケース存在することから、これらについては、小数第2まで確認しています。
00:22:38	その結果、すべての評価地点における津波高の最大値を網羅するケースを組み合わせとして、赤でハッチングしたケースを選定しました。
00:22:48	また赤字のケースが複数ある場合は、次のページで時刻歴破棄を示し、選定したケースと大きく傾向の異なるケースがないことを確認しています。
00:22:59	102 ページをお願いいたします。
00:23:08	102 ページはパラメータスタディの結果のまとめになりまして、パラスタを実施したことにより結果がそれぞれ変更となっております。
00:23:15	103 ページから 105 ページには、最大水位分布図と時刻歴明を示しています。
00:23:22	106 ページから 113 ページには、地震による津波の評価のまとめをお示ししています。
00:23:29	ここで 107 ページの津波評価結果の備考欄についてですが、
00:23:33	一部個別の評価結果のページからの転記誤りがあります。
00:23:37	水位上昇側の 5、18 断層の地震について、
00:23:41	備考欄では、傾斜角 100°、滑り角 170° とありますが、正しくは、傾斜角は浅部 70° 深部 45° で、滑り角は 80° となります。
00:23:52	またその下の水位下降側の遠州断層系の地震について、
00:23:56	備考欄では滑り角 180 度とありますが、正しくは 170 度となります。
00:24:02	同様の一覧表のページは、14 ページ、32 ページ、102 ページにありますので、次回の資料提出に合わせて修正をさせていただきます。
00:24:11	本編資料の説明は以上になりまして、引き続き補足説明資料の 2 ページをお願いいたします。
00:24:32	こちらの補足説明資料につきましては今回新たに追加したものになります。
00:24:37	ほとんどのページが過去の地震動等の資料の再掲となりますので個別内容の説明は割愛いたしますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:43	1 から 3 章と 5 章には、海洋プレート内地震の地震規模、分岐断層の選定等に関する根拠を掲載しております。
00:24:52	また 4 章の伊豆藤湖周辺の地震の影響検討につきましては、前回は本編資料に掲載していましたが、補足説明資料に、今回移動して掲載しております。
00:25:03	説明につきましては以上となります。
00:25:14	はい。規制庁鈴木です。説明ありがとうございました。嶋さんに追加の資料の方は次回これ本編側に該当ページにそれぞれ溶け込ませるということで、
00:25:27	2 ページ、追加資料の 2 ページ目はちょっと全体方針を、このページは、できるだけ手短かに書いて、3 ページの方も、具体的に何を組み合わせるかは、までは、
00:25:39	書いた上で、その頃は、
00:25:42	4 ページという形で、図示含めて、文字だけではないように、わかりやすくしたと。
00:25:48	ということですかね。はい。
00:25:50	わかりました。ちょっとこの辺はまた後で何か気になる点がある方いれば、
00:25:56	確認するとしてですねちょっと、
00:26:11	はい。
00:26:14	そうしますかこの 4 ページのところも関係するんですけど、結局この組み合わせのところ、
00:26:21	特例とないと、海域活断層と分岐断層とそれぞれあって、分岐断層の方は、これはプレート間の方のところでもともと
00:26:32	ので、そこで考慮しているものでプレート内の方はこれ下盤側なんですか、下にあるように、これまでのそのプレートをない地震との関係を、
00:26:44	連携するのは、モデルですよ。こういうこともないのでという二つなんですかね。
00:26:51	他方で、上盤側その海域の活断層の方は、これも多分これまで同時発生こういう形で同時発生する購買するみたいな多分知見も、
00:27:02	ないのだけれどもやっぱこれは坂案なんでそこは慎重に考えたと。
00:27:08	伊勢でもこういうような 1 年あたりは一応考慮しているということもありますけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:12	わかりました。で、ちょっとそもそもし周期とか全く違うんであれなんですけど、ただメカニズムとしては地震も、そもそもこの
00:27:24	プレート間で地震が起こってそれで津波が起こりますと、プレート間で起こった地震が、
00:27:29	場合によってはこういう同じ上盤側の海域活断層の方でもそれが影響を受けて、買ったのでそこで地震が起こってそこでも津波が起こりますっていう、違法ともともとプレート間の地震に引きずられて、
00:27:42	甲斐活断層の方でも地震がきて、それで津波が発生すれば地震が起きるという、そういう話ですけど、ちょっとその地震動のところも当然、短周期のものなので、
00:27:53	何が重なってなんて話に最後にならないと思うんですけど。
00:27:57	ちょっと地震動側で、
00:27:59	今までですかね何か考えていたようなこととその候補にしているようなものっていうんですかね、実際に何が重なるかどうかちゅうのはそもそも波の性質が違うんであれですけど、そこら辺で何か考えがその
00:28:10	バッティングしたりとかって、してないんですか、ちょっと。
00:28:13	地震動の方大分前に話あったんで、
00:28:19	中部電力の岩瀬です。
00:28:22	地震動の方につきましては、
00:28:25	組み合わせる対象がまず津波とモデルが当然違ってまして、
00:28:31	厳しいケースになるんですけども、SMGA を強震動を出すところを、敷地の直下に置いたモデルがベースになると。
00:28:41	で、基本的に津波と違いましてほぼ同じような時間で破壊したものが、地震動の場合は対象になりますので、もともと分岐断層として選定している御前崎海脚東部の断層体は当然ありますけれども、
00:28:56	似たような位置に、この津波でも出てきている御前崎海脚西部の断層体。
00:29:02	これがほぼ、SMGA の真上にあるということで、似たような時間体で破壊すると。
00:29:07	もう一つ検討地震で選定している 17 断層、
00:29:10	こちら SMGA のケースによっては上にあるということで、それらについてもやって、ご指摘を受けまして、
00:29:21	事例的に確認したいということで、時刻歴は形で、それぞれ 17 断層から来てる波と、敷地の直下の SMGA から来てる使用度が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:32	ほぼ似たような時間体に来ているというのは確認いただいておりますのでちょっと津波とは違った観点になるかと思えますけれども、地震動については、そういった形で考え方で確認いただいたとそういう形かと考えております。
00:29:47	説明は以上です。
00:29:50	はい。
00:29:55	そうですね。なんか今の話だと、多分そもそももう、元になるプレート間とはいえ、地震の方で元になっているものも出ると多分津波の方でも取りしてるのでそれぞれ多分地震の観点津波の観点で、
00:30:09	このモデルは、
00:30:10	違います。それによって結果、地震の方は、
00:30:15	多分ここ後方で抽出されてるものが何かちょっと違うような感じに見受けられたんですけども、
00:30:21	中部電力天野でございます今、名倉調整官からおっしゃられた時、ちょっと1枚出した方がいいかなと私も聞いてて思いまして地震で考慮しているものと、
00:30:32	津波でと、現象としましては、当然、プレート間地震ですらも、敷地直下で起きる地震動と津波が浅部が一番大きく滑るものということで、
00:30:44	同じ、南海トラフでも違うものですし、その破壊、その組み合わせる時間体っていうものにおいても破壊伝播速度が2.5キロぐらいで地震の行くのに対して津波の伝播速度が十分それより遅いので、
00:30:58	重なる時間というのも当然地震動とは違うということもあります。この辺り、どういう観点で組み合わせをやっていて、どこが一緒にどこが違うかっていう、ちょっと一覧表みたいなのを出した方がいいなと思えますけど、
00:31:12	出させていただきたいと思ってます。
00:31:15	規制庁の名倉です。まずは、
00:31:20	連動させているかどうか。
00:31:23	ということに関して、地震と津波でどういう同じなのか違うか。
00:31:29	同じだったらいいんだけど違うんだったらフリーは何なの。
00:31:32	って話がまずあると思います。
00:31:35	その上で、
00:31:37	当然
00:31:38	周期が全く違うので地震と津波は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:42	だから、重なり合わせるときの考え方。
00:31:46	が一、同じか違うのか、基本的な概念としては多分同じかもしれないんだけど、
00:31:52	やってることの、何ていうかな、結果としては大分違いが出てくるのかもしれないけど、
00:31:58	少なくとも、こちらが聞きたいのは連動という観点で、
00:32:03	地震と津波で、やはりし、シンクナリ、破壊の伝播ということでいくと、そこに差があるとしたらそれは、
00:32:13	どうして。
00:32:14	ていうところですねそこはちょっと、
00:32:16	しっかり整理をしていただけたらなと思います。
00:32:21	中部電力天野でございます。はい。ここ重要かと思っておりますのでしっかり
00:32:28	どういうところが同じでどういうところが違うかというところを整理した一覧表のようなものをここに追加させていただきたいと思います。
00:32:41	はい。よろしくお願いします。
00:32:43	ちょっと細かい文字とか、づらの話はあるのかもしれないんですけどちょっと次確認したいのが、
00:32:51	11 ページですかね。
00:32:56	ちょっと全体のその本当の概念的なものが書いてあって、
00:33:02	これ一、ちょっと確認したいんですけど。
00:33:06	ここを遂行地点っていうふうに今回、この組み合わせ検討するときに、ちょっとポイントを変えてますよね。
00:33:15	それ別に否定してるわけではなくて、何か注釈を見ると、確かに敷地前面っていうその防波堤のあるような膨張てなるような形も前面にしてしまうと、
00:33:26	そこにぶち当たった一瞬から波しか出なくて、それ以外の時間体が全くわからないっていう、多分網野八景えっと、ここにはできないですけど、
00:33:35	本当にピンてたって、それ以外はもうずっと平坦になっちゃうんで。
00:33:40	組み合わせ検討する上ではちょっとそれは差し障りがあるだろうと。
00:33:45	いうことなんですけど、ただ敷地前面って結構見切るを足して2キロぐらいありますよね。
00:33:51	この中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:53	プレート間はやっぱりここの部分は、
00:33:58	ちょっと敷地前面から少し後、放水こうなるような少し海岸線ですかね、ゼロメートルのあたりまで戻したときに、いや、プレートがなんかここは高くなるんだけどそもそも何か地すべりとか甲斐活断層とかは全然違うところが高くなる。
00:34:13	のがあるのかないのかね。5号の放水工程でこの1点で、ちょっと敷地前面からちょっと引いたところ、
00:34:22	ここの点で何かこう組み合わせるかどうかを
00:34:27	どれとどれを組み合わせが一番いいんだっていうのを検討するわけですよ。
00:34:30	もっと何か沖合に別に引き戻しているわけでもないし、
00:34:34	何かこれって、
00:34:36	別に午後放水高地点だろうがもうちょっと西になろうが東になろうがほとんど
00:34:41	また変わらないのか、いや、ここがやっぱり一番いい場所なのか、何かその辺りがよくわからなかったんで教えてもらえます。
00:34:53	はい。中部電力の盛です。基本的にはその津波なので、敷地前面の
00:35:02	はい。ただ、例えばですけど108ページに、
00:35:08	今、プレート間地震津波評価結果の最大上昇水位の分布が、
00:35:15	例えば22.7メートルのケースと一番左の方に載っているんですけども、
00:35:20	それで多少のぶれはあるんですけど、大体同じような、周期が長いということもあって、同じような波が来て帰っていくということで0だというふうに考えています。
00:35:30	なのでどの地点で、時刻歴は形を見ても、当然、最大値の数字自体は変わってくるんですけども水位変動のハケという意味ではあまり変わりがないというふうに考えています。
00:35:43	その大小関係が変わらないかというところは、ちょっと今後、確認としてお示しさせていただきたいと思っています。
00:36:00	はい。あれですね際、本当に、敷地前面の防潮底にぶち当たったところの、
00:36:06	最大点の最大の数値自体は確かにその物によっては好きであれですかね、基準断層モデル1-1だったら本当に東8に近いのかな。
00:36:17	あたりするけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:19	別には形の形とか、ここに山が来るんですけどっていうそれ自体は、そこは別に場所等は変わらない。
00:36:25	だから、組み合わせるかどうかの検討は、
00:36:31	別に広報の方遂行でもいいし、もうちょっととらえてもいいしっていうのはあるんだけどもここにしますと、
00:36:37	いうところで決め打ってるわけですね。それはあれですかね。
00:36:42	発断層の方も同じ地すべりの方も同じっていうふうに考え、
00:36:57	多分最後に組み合わせた結果でどこで高くなりますかは結局最後、敷地前面で見るわけですね。組み合わせを検討するときに、一旦、
00:37:07	この後放水高のところで検討して、最後の、
00:37:11	一体計算やった評価結果は、
00:37:13	敷地の前面で最後評価してそこの一番高いものを採用しますと、そういうことです。
00:37:18	はい。中で、おっしゃる通りですんで、評価地点みたいにしてしまうと、潜航みたいに、ここでまず線形の時間等を検討してっていうふうになってくると、
00:37:28	ちょっとまた話が変わってくるところもあると思ってまして、
00:37:32	あまりここを評価地点でというよりは、今回 12 ページみたいに示させていただいたように、浜岡、結構敷地全面開けていて、あんまりその時間差によって
00:37:42	何かこう波が変わったりっていうところじゃないと思っていますので、こういうイメージでまず、広く網羅的に時間差を検討してみて、今の 5 法施行時点ではなくて敷地前面の中で一番高いところは幾つかというようなグラフ、時間差のグラフ。
00:37:56	作っていくというところの中で、きちんと一番大きい点というのは確認できているかなというふうに思っています。
00:38:09	はい、わかりませんな。あくまで、そうですね、その評価地点を変えるものではないということで、お伺いはしました。ちなみにこれ、今敷地前面の場合の例なんですけど、あれこれ取水、
00:38:20	高と取水槽とか、ああいう場合はそれはもうその場所になる。
00:38:26	それも何かどっか 1 回、
00:38:28	引き戻すんですかねどっかで。
00:38:31	はい。中部電力の盛です。取水槽と取水口すいません、取水槽ですね、17 ページが例えば取水槽の例で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:42	こちらのピンポイントで1点、池モデルでやっていますが1点に決まりませんので、ここはこの
00:38:49	ダイレクトな数字で比較をしていくと、先ほどの資機材のところはちょっといろいろあって決まらないと困ってます。5号の補正の真ん中辺りでちょっと例示をさせていただいているというところです。
00:39:01	はい、わかりました。わかりました。
00:39:07	うん。
00:39:08	で、次、
00:39:10	12ページなんですけれども、
00:39:14	このやり方は、
00:39:17	けかな、何かどこかでこういうやり方やってるとかというものでもないですね多分余りにもう検討数は数が多すぎないから当然、入口で一段スクリーンをかけてあげないと。
00:39:29	ものすごい無駄なものが多くなるっていうことで、
00:39:32	ちょっとやり方としては、大ざっぱにやって、あたりつけてから、3秒ピッチ。
00:39:40	何となくわかりましたと。
00:39:44	ただ、ちょっとこう後を組み合わせのやつとか、例えばですかねプレート間とか18ページとかは書こうかすいません。
00:39:53	16ページとか、この辺見ていくとちょっとこの数字の見方も教えてもらいたかったんですけど。
00:39:59	ここで、
00:40:02	例えばプレート間ですね基準断層モデル1112って書いてあるこの下に書いてある敷地前面最大もこれまさに敷地前面最大ですね、防潮
00:40:12	樋口アップの多分、
00:40:13	ここ言うところの、あとはその21.1とか21、1.0、これは、
00:40:19	午後細野時の午後放水のところの数字を入れてるわけで、
00:40:25	みその右側の海底地すべりも、
00:40:29	これわあ、敷き詰め6.3に対してその、その、
00:40:33	エトゴ放水。
00:40:35	違法の場所でのものっていうことで、は形が別に午後放水高のものだろうがちょっと東ずれ、西伊豆両同じってというのが、さっきの話だと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:40:46	ここに書いてある数字自体は、二重に足し合わせないようにする潮位の 話とかは、ここ差っ引いてなくて、それぞれそのままの数字ですねこれ。
00:40:58	小森です。おっしゃる通りです。0.8メートルの長様、考えています。
00:41:04	はい。
00:41:05	ちょっとこの向けにですねかなりこの場合は、数字わずかだったり、 かなり時間も離れているのはいつもあるんですけど、
00:41:14	これ、例えばですね S26 については、やっぱり一番のピークが 4 抵当 5 号のところ方遂行のところで、
00:41:25	04.6 メートルだと、敷地前面最大のこれに対応してピークとして 4.6 で、このきちんとピークと、プレート下の方のピークが、これは
00:41:36	重なる。
00:41:38	範囲にもあるので、
00:41:40	多分こんなようなものはあまり気にならないんですけど、
00:41:44	これ地すべり一番でかいものこれで重なるんですって言えばそれ まで、例えばこういう
00:41:51	買い活断層の方とかも、何かこう、一番高いやつは、ちょっとこのレン ジ外にあって、これ 2 番目なんですかね。
00:42:00	3 番目のかわからないんですけど、あと 1518 とか、一番でかいもの 3.4 メートルがあってそこは、何ていうか重なる範囲外ですと。
00:42:09	その範囲内に入ってる中では 1.2 メートル内はちっちゃいものです。
00:42:15	ことなんですけど、この範囲でどのぐらい検討してこの幅ですね。
00:42:21	オレンジというか、この 2 本線のものが決まるのかなあというところを ちょっと教えて欲しくてですね。
00:42:29	この電、
00:42:31	基準断層モデル決めた後のバランスたって、
00:42:35	破壊伝播速度だったり破壊開始点だったり、ずらしてるじゃないです か。
00:42:41	ああいうものを
00:42:43	なんていうか
00:42:45	ずらすことによって、この辺で大きく変わってしまうようなものかそこ ほとんど変わらないので、最後基準断層モデルの中で、最後一番残るや つありますように、
00:42:55	最大のもの。
00:42:56	今だと 13 ページと基準断層モデルの 1-1 だと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:01	概略パラスタはさておき詳細パラスタまあライズタイムはもう関係ないのかな、破壊伝播速度、2.5 倍返し、P4 とかあって、
00:43:10	これってある一つの若い子伝播速度だったら買い替えして、
00:43:17	当然これをずらしてしまうと、この 22.7メートル自体がちょっと下がる、その時点が下がってしまうわけなんですけど。
00:43:24	ここでこれをずらすことによって、何かその組み合わせレンジがずれてしまったりして検討は必要になるのかちょっとそこら辺の、
00:43:33	そのなんか取り合いというか相場感がですねぱっと掴めなくて、
00:43:38	これ破壊伝播速度を交わしたり破壊開始点自体がそもそも変わると、これ、活断層のところまでとか地すべりまでの、
00:43:45	いつ滑り出すかとか、そこら辺もちょっと変わるんですよ。
00:43:51	この辺の関係がちょっとわからないので、これって何か検討されたりするのかもうそこはもう割り切って今、この今 13 ページに書いてあるような
00:44:02	破壊伝播速度だったり破壊改正だったり、これでもうやってるというそういうやり方なんですけど、ちょっとそこら辺が、
00:44:11	見えなかったので教えてください。
00:44:16	はい。多分、2 点ご説明させていただくのがいいかなと思います。まず、16 ページでこの黄色いバンドを引いてるところってのはどういう意味かということなんですけど、
00:44:29	今一番左上の基準断層モデル 1 の 1、一番大きいところの、押し波の第一波で、ここの間に、他の海底地すべりであったり御前崎海脚西部、
00:44:39	ノウマ波があれば、波が重なる可能性があるっていうのは目安として、引いているものですので、
00:44:46	この坂野氏、右下の方の黄色い線の
00:44:52	凡例のところにも書いてあるけど今 7 分ぐらいありまして、
00:44:56	これに対して地震の地震動をずらす地震動の継続時間今、当社の基準車で今 150 秒で、
00:45:03	先ほど少しお話した破壊伝播の時間なんかも、どういう場所にあるかっていうことはあるんですけど、どんな供給力見ても 1 分ぐらい。
00:45:13	1 分未満だと。
00:45:14	いうふうに思っています。というのをちょっと参考で下の方にも書かせていただいています。なので、ある程度、ちょっとこの 7 分というのは幅

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	広くとってあるというふうに見ていただきたいと思っています。なのでこの中に、
00:45:27	あるからといって、
00:45:29	絶対にこの地すべり等プレートが重なる可能性、重なるのか、実際に一体計算してみないとちょっとわからないところもあるんですか、そうなるのかっていうところはちょっと。
00:45:37	この図からは判断できないんですけど、ここよりも外側にあるものは、先ほどご指摘あったような例えば、58の3.4みたいなところは、これだと7分ぐらいさらに前の方に離れてますので、
00:45:51	多少破壊開始が変わったりだとかということがあっても、重なるような時間体にはないというようなことを考えています。
00:45:58	で、もう1点が、
00:46:03	この20、左側の21.1、21、2.65ですかね、の基準の方で1-1と、他の
00:46:11	多少
00:46:13	基準月の1日の31年を押し力の位置がずれてますので、多少到達時間が、
00:46:18	違っていて、ちょっとこのバンドでは見えないかもしれないんですけど、数秒ぐらいは時刻が、ピークが出てる事故が変わっているというようなところがございまして、
00:46:30	ちょっとそこをどこまでやるのかということなんですけども、まずこの黄色のバンドで重なり合っているだろうか、可能性があるというふうに判断した中で一番大きい基準断層モデル1-1と、
00:46:42	S26地点の海底の4.6メートルの方、最大で、敷地前面の最大6.3、まずこの一体計算をしてみて、ここがきちんとピークが抑えられているというところが、
00:46:55	先ほど示したような12ページのイメージだったり、あとスナップショットで波が重なっているというところがきちんと説明できれば、それを超えてくることはないんじゃないかというようなことをお示しできるのかなというふうに考えています。
00:47:09	以上です。
00:47:14	補足をさせていただきたいんですけど、あくまで組み合わせ方針は先行と概要も含めて独立事象を重ねるというよりは地震が、
00:47:25	継続している影響によって万万が一にも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:30	組み合わせるといふところの評価だと認識をしておりますので、鈴木さんがおっしゃられた例えば 16 ページの右の方に、海脚西部で 3.5 メーターというのをちょっと、
00:47:41	離れたところにあるという。の方が大きいんじゃないかっていうことなんですけど、これでも、例えばオレンジのバンドで 10 分ぐらい先になりますと破壊伝播速度、
00:47:51	が 2.5 キロ毎秒だとするとですね、この間に 1500 キロぐらいもう破壊伝播しちゃってるので、もうここまでなるとそれぞれ独立事象を、
00:48:02	足すことになって今のガイドの中でやる場所ではないのかなという認識をしていると。あくまでオレンジぐらいの中でスクリーニングをした中で、
00:48:12	250 秒とか 200 秒ぐらいの地震継続時間の中で、一番大きな影響でるところっていうのを探そうと、いうふうに考えていますので、
00:48:24	他社とちょっと変えてるのは、
00:48:28	12 ページのところ、いろんな議論も踏まえまして、やっぱり線形足し合わせした後に、一体解析したからといってそいつが、
00:48:38	常に高いところ出してるかというところもなかなかはっきり言えないので、我々、1 回網羅的に 30 秒ピッチぐらいですね。
00:48:48	高くなるその傾向をまず大ざっぱに掴んだ上で、どういう組み合わせが影響出るかっていうのを、
00:48:56	大きく掴んだ後に絞っていくようなやり方を今回ご説明させていただこうというふうに考えているものです。
00:49:08	はい。ありがとうございますちょっとそうかそうすると、
00:49:13	最後ですね年教え 9 にする等今田から 16 ページ、これはあくまで高上昇側の敷地前面で、
00:49:24	大体大きくなる範囲を仮に 7 分ぐらいとってこれで、
00:49:29	このぐらいとっておくと、下で行っている地震動の継続時間、或いは地震動の到達時間が最短ですよ。だったり逆に、もう少し遅く到達するみたいなものを見込んで、
00:49:42	この範囲内を見ておけば拾えている。だから細かく、実際に何分かな。
00:49:50	わかりました。そこでなのでここに入らなければそもそもおおよその多少プレート間の方の改変等速度だったり少ないじられたとしても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:59	音声入ってこないだろうっていうかそういう目安として見てるわけですねもちろんその無理やりサイドの最大のものを重ねなければおかしいんだというそういう趣旨ですいません聞いたつもりはないので、
00:50:10	はいはい。
00:50:12	わかりました。で、これがだから、今から今言ったような地震動継続時間とか、到達時間みたいな会社当然 17 ページだったり、18 ページであってその部分が変わるような、
00:50:24	拠点変わるようなものではないということですね。はい。
00:50:29	これ、何となく相場感は掴みました。あまり、
00:50:33	うん。
00:50:48	すいませんちょっとこのあたりで何か他気になる点ある方おられますか。
00:51:02	鷺見木口です。
00:51:04	前回のヒアリングでもちょっと聞いたんですけど、今回
00:51:07	津波発生要因の組み合わせのところで、梶浦フィルタ使うってことで、
00:51:13	ただ、そもそも地震による津波の場合には、考慮してなくて、
00:51:17	今回、
00:51:18	この組み合わせのときにも考慮する。
00:51:21	ことにしたっていうのは、
00:51:23	何かどういうお考えなのかどっか書いてあったりしたら教えていただけますか。
00:51:30	はい。中部電力天野でございます。梶浦フィルター自体は、ガイドにも記載されている通常の方法なんですけど、正直言うと、計算負荷が大きいので、前回までプレート間地震の津波で、
00:51:42	1700 ケースとか、計算してる時に入れると、ものすごい時間がかかるということもあって、取り組んでいなかったというのが現状で、今回、
00:51:53	まだ、
00:51:55	最後になってませんが最後基準時、津波という組み合わせを計算する際には、最終ということで
00:52:04	可能なものを取り入れようという考えで入れさせていただいているところですよ。
00:52:11	何か梶浦蛭田って条件によっても変わるとは思うんですけど、どちらかという水位がちょっと下がる傾向にあるっていうふうな認識なんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:20	その計算負荷が大きかったからってことだと思うんですけど、どうしてここであえてまたそっちを入れたのかなってというのがちょっと、
00:52:28	いや、本当に単純に計算負荷が多いんで前プレート間地震の説明をされ、させていただいているときに、網羅的にいろいろ計算する中で、
00:52:38	そのプログラム作って織り込むというのは、到底間に合わなかったというところが本音でございますんで、
00:52:46	東海第2なんかも途中瞬時に計算した上で最後、ライズタイム入れた計算で評価されているので、これはファイナルであれば、そこまで、
00:52:57	間に合ったというところではありますが、そういう考えであります。
00:53:09	規制庁の名倉です。
00:53:12	この考慮するって書いてあるんですね。
00:53:15	考慮するって一体どういう意味かわからないんですね。
00:53:19	だから
00:53:21	これは梶浦 1963 をメインで使うわけではないと計算負荷が高いので、
00:53:27	ということはそれ以外の今まで通りのやり方でまずやってみますと、
00:53:31	やった上で支配的なものを、をちゃんと決めた上で、一体計算やるときに、もう絞り込んで深野梶浦 1963 を提供しますと。
00:53:42	言ってるんだけどこの床従来 1963 を適用して出てきた数値を清に塗り替えてしまうっていうことを言ってるのか。
00:53:51	それとも、いやいや、これは念のために整地により確認するんだけど保守的な、数値をそのまま使うと言ってるのか、ただ単に検証で考慮すると言ってるのかそこら辺の考慮するって言ってるのを、
00:54:04	この梶浦 1963 で塗りかえると、
00:54:07	いうことにするんであればそれなりに妥当性を示してもらわないと計算過程も含めて、
00:54:13	だからそういう意味で考慮するって、これって、
00:54:19	これを考慮した対応を精緻にするんです正の値にするんですかっていうところが聞きたかった。
00:54:27	中部電力浜野でございます。ここで私どもとしてはこれ要は計算の一つのプログラムの中のアイテムなのでそれを適用しますっていうことを、
00:54:38	お伝えしたかったんです。ただ、今、名倉調整官がおっしゃられた通り、それを入れた場合と入れてない場合でどういう差が出て、どちらが妥当で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:51	その保守的にどう見るかっていうような時間をかけるっていうことであれば、特にもう、ここを見ることは、釣りやめる方が、
00:55:02	いいかなと思ってます。
00:55:05	前々から申し上げてる通りで、なるべく早くプラント班に引き継ぎたいというところもありますので、
00:55:11	これはあくまで計算手法の一つとして今までやってなかったんで、ガイド上あるので、
00:55:18	入れたいなというだけのつもりで書いてます。
00:55:25	既設の名倉です。
00:55:27	先ほど、加納。
00:55:29	規制庁道々口の方から、
00:55:32	聞いたところの質問の中に含まれてるんですけど、この下従来 1963 を使ったら、津波の水位は基本的なセンスとしては傾向としては低くなる方向に行くと。
00:55:43	ということであるとする、施設側の観点とかでこれをどういうふうに言うかっていう意味では、
00:55:50	何て言うのかな施設側の観点ではないんだけど、どれぐらい保守性を有してるかっていうことの確認に使うということとで考慮するとしてるのかというふうに今趣旨としてはとらえられたんですけど。
00:56:05	そうであればそういうふうに書いていただいた方がわかりやすいのかな。
00:56:09	そこは事業者の裁量だと思います。
00:56:13	ガイドでも言及されてるような手法なんですけど、その手法を使えばどんなパラメータを使ってもそれでいいと言ってるわけではなくて、やはり、
00:56:23	より詳細に解くような方法、また別の方法を使うのであればそのパラメータの妥当性は別途確認しないといけないので、
00:56:31	そういう意味で、妥当性、それを整理するんであれば妥当性をちゃんと説明してもらおうというプロセスが入ると。
00:56:38	ということになるので、この考慮するということに関して、趣旨を明らかにしていただきたい。
00:56:44	という、そしたら私方がそのこのところですよ。
00:56:56	加茂でございます。はい。承知しました。ちょっと、多少下がるっていうことは当然理解していますのでそこを織り込んで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:06	最後保守性で使うのか、
00:57:10	正直そこまでやってると、また審査会合増えてしまうのは我々としては本意ではないので、であれば従来方法のまま行って、逆に耐津波設計の時に、
00:57:21	そこだけ出して、保守性を持ってるんですという説明に使うのを少し考えていきたいと思います。
00:57:30	町長の名倉です。私ども、時間を縦にとって、
00:57:34	何て言うのかな、余分なことやらないでくださいとかそんなこと言うつもりは全く、余分なことでも何でもなしそんなこと言うつもりも全くないので、
00:57:43	そこは考慮するといってその使い方、
00:57:47	それをちゃんとわかりやすく説明していただいて、必要であればちゃんと審査するし、
00:57:54	そこんところが、逆に別の目的であれば、
00:58:00	それは審査としては、どういうふうに見るかってのはそれこそ
00:58:04	そのやり方に応じて考えさせていただきたいと思います。以上です。
00:58:24	はい。
00:58:26	等じゃ続いてですねこれはもう本当にエンタメ確認ですけど、14とか15ですかね、特に14D、
00:58:35	説明の中にもあって言いましたけど、これ、
00:58:39	例えば御前崎海脚のところに段なっていましたり、あとは遠州断層のほぼ2段、これ、
00:58:49	それぞれ右に備考に書いてあるパラメーターのもので最大のものをどんどん入れていって、たまたま12号3号4号5号の取水槽が、
00:59:00	上から2段目ですねこれが四つとも、たまたまこれ一本で最大の
00:59:05	もっとばらけてしまったらこれが増えるしっていう、
00:59:07	ここちゃんと最大のものを、
00:59:12	波源とかパラメーター、同じもので、最大になってるもので、こう並べてるっていう、多分後ろとの関係を、多分後ろに全部一覧リスト出ている、
00:59:22	多分、
00:59:23	敷地前面とその取水槽でばらけているものはこういう書き方になるし、
00:59:28	変わってると思うんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:31	そういう表記、プレート間の単独のときにもそんなような最後まとめ方、それとあわせてるっていうことでいいんですよね。
00:59:42	はい。中部電力盛です。ご理解の通りです。例えば、海洋プレート内の方だと、69 ページが今回、
00:59:50	海洋プレート内の津波評価のまとめに、津波評価結果の一覧になるんですけども、
00:59:58	69 ページです。
01:00:04	はい。
01:00:05	上段の水位上昇側の赤色で塗っている方で、こちらと敷地前面と、12号水槽、5号水槽と、あと34号取水槽と、それぞれ三つ選ぶようになってますので、
01:00:17	ばらければばらけた分選ぶし、一緒であればその分、減っているというような形で今回、プレート間と同じように選定させていただいております。
01:00:35	はい、わかりました。ございます。
01:00:42	うーん。
01:00:43	とすいません杉井の小高工場は、
01:00:50	18 ページに概念があるんですかね。
01:00:54	ここもそう、ここに実際に、今後もでき上がったものとかやり切ってるものを見てみないと、当然イメージ湧かないんですけど、しょうがないんですけど、
01:01:04	これ。
01:01:08	基本的に組み合わせる相手側のものってどっから軒並みこれマイナス3.1とかマイナス6.0とか最大のものもちろんあるんですけど、
01:01:18	結局いずれも、
01:01:21	単独で飲み口全く下腹ないものとその経過時間が0になるもの。
01:01:29	ていう。
01:01:30	のではあるんですけど、そういう積もう単独泥酔をマイナス側に入ってる範囲であれば
01:01:37	そこと重ねれば、やっぱり、
01:01:40	となればですね、まず、
01:01:43	プレート間地震のほうの水位低下時間が延びるかもしれないし全く効かないかもしれないし、
01:01:49	あそこの考えはだから、スイテキカジ時間はないんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:54	推定加川のピークだったり、
01:01:57	が大きいもの。
01:01:59	と。
01:02:00	重なれば、スピーカ時間長くなる可能性がある。
01:02:05	一応そういう考えで差異を拾ってるんですね。
01:02:08	多分時間の概念がないので地すべりとか、
01:02:14	海域活断層、
01:02:21	はい、中部電力の盛です。こちらの上昇側と大分違うところとして18ページの方の下降側なんですけど60分ぐらいのところで、プレート間の最大スイテイカジ感が出ていると。で、
01:02:33	1時間も経つと、かなり波が小さくなってしまっていて水位低下時間が出てないというのももちろんなんですけど、今回このグラフすべて潮位も込みで入ってますので、0.93メートルの潮位が入っていると。
01:02:45	いうのを差し引いて見ていただくと、海底地すべりも海域の活断層もプラスマイナスでも1メートル行くか行かないかぐらいの変動しかない
01:02:53	と。
01:02:53	というようなところで、上昇側、最大水位が大きいものが、やっぱりさっきの黄色のバンドの中でも大きいということがしっかり言えたんですけども、
01:03:03	もうほとんどなんかちょっと揺動みたいのところになってくるところが、ちょっと上昇側とは違ってはっきりこれを対象にしますというのはちょっと今の段階で言いにくいなところ。
01:03:15	ちょっと、あとは、この左側のプレート間地震のこの水の、
01:03:21	低下だったり回復、この点線の呑み口下端レベルは挟んだ後の水位の低下とか、結構、
01:03:27	切り立ってると思うんですけど。
01:03:29	ここに比べてかなり変動が少ないこともありまして、何かそこまで足し合わせても何か影響が出てこないというのがちょっと試験等の中からはちょっと見えていたりもして、
01:03:41	一度影響確認みたいな形ではいろんな波源をやってみて、必要に応じてちょっと検討対象を選ぶというような作業が、
01:03:52	必要かなということで上の方の3ポツ目にはそのようにちょっと書かしていただいているという趣旨でございます。
01:04:00	はい。なんでちょっとやってみない等上昇側と同じようなことを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:23	されたので、ちょっとその範囲で今すいません、確認しました。
01:06:28	この辺りで特に、
01:06:31	なければ、
01:06:36	26 ページは特に 27 ページも多くて藤文化の件は、
01:06:43	これはすみません、魂が書いている内容自体は、変なものでも、特に気になるものでもないですかね。ちょっと最終的にどこまでここに、なんていうか、全体の中で、
01:06:56	敷地周辺の既往津波のうち、その火山のトンガだけ、徳田市でつけるかっていうのはあるんですけど、
01:07:03	ちょっと最後、最終的な何かまとめ資料になったときに、どこまで入れるかっていうのはあるけれども、1 回今回多分 2022 年の最新の話で、多分今まで 1 度ご説明してないので、
01:07:14	ちょっとここに一旦入れたっていう、そういうことですかね。
01:07:19	鎌野です。おっしゃる通りで、27 ページの過去の既往津波の表はずっとお示ししている中で、
01:07:30	唯一更新されたのが今回の T がてことで、とりわけ入れさせていただきましたが当然最後のまとめの中に、これがずっといるというのはおかしいので、これは補足のほうに多分落とすと思ってます今回は、
01:07:44	最新化という観点で入れさせていただいてます。
01:07:56	規制庁西木です。そのとんところで、ちょっとこれ、
01:08:01	おっきいのかどういう意味ながらちょっと教えて欲しいんですけど、28 ページ目のところで、
01:08:06	今回の分、
01:08:07	本、2022 年のトンガ分か。
01:08:11	に関する問題が載ってるところでこの
01:08:14	左側の、
01:08:16	噴火の基本情報の中の噴火規模で、
01:08:19	VEI6 と書いていって中野ほか 2013 と書いてあるんですけどこれって、
01:08:24	何で 2013 って 2022 年の噴火の概要がここに出るのかわからなくて、
01:08:31	ちょっとお伺いしたいんですけど。
01:08:34	はい。中部電力の盛です。
01:08:37	そうですねちょっとこの表記どうするかということあるんですけど、実際に火山のデータベース、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:42	産総研のデータベースからメール送って引っ張ってきてますんで、そのデータベース公表の時の論文が仲野ほか 2003 だと、2013 だったのでそちらを大きな引用元としては書いてるんですけど、ちょっと誤解を招くので、
01:08:57	野瀬データベースの名称にちょっと変更させていただいた方がいいかなと思います。
01:09:01	理解しました。
01:09:04	日本の火山データベースが何かそういったような感じのところでのいわゆる更新版みたいのがあって、そこに水出てるという意味ですがわかりました。
01:09:13	ちょっと多分多分あのぱっと一瞬見てあれなんだと思っちゃったぐらいなんではい。多分、表記変えられた方が
01:09:21	誤解ないかと思えますのではい。
01:09:23	ご検討ください。
01:10:13	すいません登坂。
01:10:15	結構後、個別ちょっとどこのページにしようかなっていうのはね飛ぶんですけど境界活断層の方って今回組み合わせて、
01:10:24	パラスタもっていうことでさっき幾つか説明もあったんですけど、
01:10:29	これわあっと基本的な傾斜角だとかその地震動でも、
01:10:35	見ているようなパラメータのフリーっていうのは、これは合わせてあるっていうか、
01:10:44	何かその日頻度と津波で少しパラメータの振り方とか書いているものであります。
01:10:50	今日多分土木学会とかっていう部分は、当然、
01:10:53	違うんでしょうけど、あれかな、686 ページとかのがいいのかな。
01:11:04	中部電力の盛です。86 ページでご説明させていただきます。衛藤。
01:11:10	基本的にその津波評価に効くパラメータを振っているというのが大前提でございます。で、
01:11:17	土木学会 2016 の中で活断層海域の活断層として振るパラメーターというのと、あと他サイト先行サイトの
01:11:27	検討されてるパラメータを見ながら決めてはいますけども、傾斜角滑り角まだ遡上に深さを

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:34	項目を振っていくというのが、津波評価、土木学会 2016、あとは先行サイトを見てもこの三つを振っているかなというふうに確認してございます。
01:11:44	で、その設定方法についても、土木学会皆見つつ、実際の活断層評価結果を確認して、設定をしているというところです。
01:11:56	はい。当然そのプラネタ津波きくパラメータを振るっていうのは、おっしゃる通りは当たり前の話なんですけど、
01:12:04	雑魚傾斜角とか滑り CAQ、傾斜角、これはだから、
01:12:10	実施 C の方でもおんなじ、当然元になっているのはこれ活断層の調査結果を基にして、そこから降ります。この振り方自体は一緒。
01:12:28	中部電力の岩瀬です地震動の方は傾斜角は、1 本、不確かさとして振ってるんですけども、地震動の場合は、傾斜角を、倒した方というか、
01:12:41	寄居低角にした方が、
01:12:45	一つ断層面積が大きくなって地震規模が大きくなる観点と、特に津波と共通の御前崎海脚西部の断層体なんですけれども、それについては、より低角にした方が敷地に近づくので、
01:12:57	そっちの方向を選択していて、逆の方向の遠くなる方向は振ってないとか、そういう違いはあります。
01:13:05	わかりましたかありましたその振り方の方もそれぞれ地震、
01:13:09	側で厳しくなるような振り方は確かなので、そこまで一致させてはいるわけではないわけですね。はい。
01:13:19	わかりました。
01:13:52	あと、すみません 92 ページかなこれはまだこの結果のものですけどちょっとここも、
01:14:00	結構違うのかなっていう意味で教えて欲しいんですけど。
01:14:05	どのぐらい違うんだろうかこれー。
01:14:08	一応、断層の方も今これパラスターをやってみると、
01:14:14	敷地前面のところ、
01:14:18	というのが、これは敷地前面で最後ぶち当たる最大の 1 個の PEEK しかもちろん出ないんですけど、
01:14:25	時間的に見ると、今あれだな、ちょっと待ってくださいね。
01:14:30	一番の最大は、
01:14:35	1 歳上から 4 段目のやつがこれが 30、35 分ぐらいなんですかね。
01:14:41	できていて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:14:44	でも、
01:14:45	それが、
01:14:48	ものによっては、当然、高さ小さいですけど、
01:14:51	40分とか、
01:14:53	パラメータ振ってそれ、
01:14:55	くれても、5分ぐらいなんですけどちょっと目方があまりよくわからないんですけど。
01:15:00	そんなに大きく変わったりとか、
01:15:03	何でこちらの振り方に寄って、
01:15:06	何か敷地に来るまでの時間が、さっき言ったような
01:15:10	プレート間の7分とかですね。
01:15:14	うちとの関係で大きくずれたりとかってというのは、
01:15:17	その辺はないっていうふうにとらえてますかね。あと取水槽とかの話を見ると、
01:15:24	これも多少のでちょっとぐらい時間ずれてるかもしれないですけどいろんなケースを見てみてもそんなに、
01:15:30	どこのタイミングで敷地側に来るか。
01:15:33	そんな違いはないように見えるんですけど、ちょっとその敷地前面だけは、山が行くしかないので、
01:15:39	これどのぐらいずれているのかなっていうのはその線、5分ぐらいですかこれ。
01:15:46	はい。中部電力の森です。すいませんちょっと私もこのグラフを見て、15分ぐらいかなというぐらいなんですけども、敷地前面の葉系も、
01:15:56	先ほどお示しさせていただいたようなもうちょっと海岸線のところをお見せさせていただくと、あんまり変わってないのかなというところも見えますので、そういうものも掲載させていただいて、
01:16:08	いきたいと思います。
01:16:11	はいこれはすみません、単に海域の単独の方の話なので、多分ここでインテルと志賀に御会社の混乱してしまうかもしれないですけど、私は何となくその1個目の山名の可児米野山賀。
01:16:23	見えてるのかとか、
01:16:24	1個目の山が最大7日に込山がちょっと、ベコっと最大になっているのかっていうそのぐらいの違いかもしれないですね。はい。
01:16:32	わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:16:34	当間菅としてはそんなに影響しないそうだったというのがわかりました。
01:16:49	後すいません。
01:16:52	あとすいませんこれ完全に説明の時に聞いたやつを聞き取り損ねたんですけど、最後なんかパラメーターのところ間違えてましたっていうのがあるってどことどこどこでしたっけ。
01:17:06	中部電力の加藤です。
01:17:09	107 ページご覧いただきたいんですけども、
01:17:12	107 ページには
01:17:14	水評価結果のまとめを一覧表で示しております、
01:17:18	あと計算結果の間違ひではないんですけどもこの備考欄、一番右側の備考欄のところに、一部ちょっと転記ミスがありまして、これ 107 が間違っていて、それより前のページは合ってるっていう。いえ、ごめんなさい。私が説明する時に 107 ページで説明してしまったので、はい、早田ですけど他の他にも、
01:17:42	何かどっかでこのページは正しいっていうものが正しいページ、正しいものが載ってるのは、
01:17:49	例えば 90、
01:17:51	91 ページ以降になるんですけども、
01:17:54	こちらの海域活断層のパラスター結果の一覧を示しております、計算結果、各評価値の計算結果と、この傾斜角滑り角、断層上達かさ。
01:18:05	が載っております。ところから、このパートの結果から、一覧表に転記する、する時に一部転記誤りがありまして、ちょっとそこはこの次改定へと訂正させていただこうと。
01:18:17	はい戸高 93 ページとか 9495。
01:18:22	この辺は合ってる。これは正しいですね。96。
01:18:27	97、9899 はい。
01:18:32	スタッフ、これもいいと、102 とかに転記するときに、
01:18:39	配送と違いがあるんですが、そういうことですねはい。
01:18:45	左側の要素評価の数字、津波の影響の値自体は、
01:18:53	てるんですけど右側に、それはどのケースですかっていうところが、
01:18:59	コピーパンのペーストしたところ、ちょっと修正漏れがあったということで、次回までしっかり直して参りますが数字の方は、間違っていないところをしっかりと確認済みです。
01:19:09	はい。すいません。ちょっと流し入れ聞いていて聞き取れ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:13	そこに至ったんですいません。ありがとう。
01:19:37	はい。
01:19:38	他んと細かい点とかでも結構ですけど、何かありますか。
01:19:43	本当に質問
01:19:50	原田と申します。よろしくお願ひします。ここ初めてなんで、もう議論されているかもわからないんですけど、
01:19:57	27 ページの、
01:20:00	海洋プレート内地震。
01:20:03	につきまして、2004 年紀伊半島南東沖の地震が、
01:20:08	今、選ばれてますけど、例えばあれ 2009 年やったと思うんですけど、
01:20:13	衛藤、伊豆小笠原海溝沿いで正断層の、
01:20:17	M7. 幾つかの地震があつて、太平洋側に、大津大津波では津波警報が出たことがあつたんですけど、
01:20:27	このような海洋プレート内地震急な考慮はされてるんでしょうか。
01:20:37	はい。中部電力の盛です。基本的には、金地津波というか、近いところの影響が大きいということで、近いところから順番に、
01:20:47	選定をしていっているというところですよ。で、
01:20:56	調査対象としては、どっちがいいのかな。
01:21:02	まず、51 ページなんかで、
01:21:12	当然、南海トラフに浜岡サイトありますので浜岡サイトでどういふ、フィリピンがプレートの中でどういふ津波が起こるのか。
01:21:21	それより少し遠いということで、56 ページの方では、南海トラフ沖合のということで、
01:21:29	銭洲断層系が大きい断層が 56 ページですね、ありますので、そういうところの断層の影響はどうか。
01:21:39	で、57 ページの方で、まず下、スクリーニングをします。
01:21:45	いうところで、先ほどの
01:21:48	フィリピン甲斐プレート内の海洋プレート内地震が、どこで起こるかかわからないということで、どこでも起こり得るといふふうに考えて敷地の前面に持ってきたものの影響が大きいと。
01:21:58	いうところは見極めております。で、ちょっと今回補足に持っていったんですけども、今原田さんおっしゃられたような、伊豆半島の方の正断層についても、
01:22:09	影響確認というのはしてまして、今の 50、すいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:13	57 ページの右下の方にちょっと紐付けだけ、今回はさせていただいてるんですけども、選定にあたっては、ちょっと海洋プレート内とどこまで言うかということはあるんですけども伊豆
01:22:25	藤港周辺の地震の影響と、さらに遠方のところの影響という影響検討も実施して、
01:22:31	それが、今回選んでいるものよりは小さいというようなことを確認しているということです。で、補足説明資料 4 の方にその影響検討の結果を載せてございます。
01:22:42	ありがとうございます。この例えば、すいません。何か細かいことばかり言っちゃうみたいですけど例えば 58 ページのように、
01:22:51	この 2004 年紀伊半島南東沖地震の断層モデルを江崎に
01:22:58	一番津波が高くなる方向へ持ってくるっていう、こういう考慮検討されてますけど、例えば 2009 年のかなり南側の地震だったんですけど、
01:23:09	小笠原海溝沿いにどんどんどんどん鍛え上げていって、
01:23:15	すると、結構近いとき来るような感じはするんですよ。この絵で見ても、例えば八丈島の沖合とかに、例えば M7. 幾つの
01:23:28	それを、それぐらいじゃないは、プレート間地震とか、発生。
01:23:32	したとき、
01:23:33	にどうなるかとか、
01:23:35	そういう、
01:23:36	こともちょっと懸念はされるんですけど、どうお考えでしょうか。
01:23:43	検討する予定はありますでしょうか。
01:23:46	もう一つ付け加えておくと、これは太平洋内の、その地震は太平洋内のアウターライズの地震と言われる地震でして、太平洋内で起こるから例えば、
01:23:58	1933 年の昭和三陸地震とか、2007 年のゲッターエムシェル等というか、クリーンクールアイランドの
01:24:08	地震みたいに M8 クラスぐらいの地震になってもおかしくない。
01:24:13	タイプの地震だと思うんですが、
01:24:16	それが例えば、この
01:24:18	発生した場合、
01:24:20	どう、どういう津波が出るのかなという検討は、
01:24:24	営される予定はあたりするでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:31	はい。中部電力の森です。直接のご回答にはならないんですけども、40、補足説明資料の
01:24:40	40 ページ、
01:24:44	2、
01:24:50	水頭高周辺の地震の影響検討ということでこれアウターライズというよりはもうちょっと敷地に近い。
01:24:56	方の水と、この辺りの
01:25:00	活断層による敷地への影響を検討したものになりますので、
01:25:06	敷地に近いということで、
01:25:10	ちょっとすみません敷地の位置がないのでわかりにくいんですが、衛藤は、
01:25:14	地図の左上の方に敷地がございますので、
01:25:20	青色の正断層がたくさんあるところがニーズと周辺になってまして、その中で敷地に近い 123C、
01:25:27	5 というふうに番号をつけたところについてそれぞれ、津波高を出していると。
01:25:33	で、ちょっと断層の
01:25:38	リフトの掘
01:25:40	また、断層タイプとか、あとは横ずれなのか正断層なのかというところはちょっと違うところというのはあるんですけど、
01:25:46	1 から 5 までが、全部連動したと思ったときに、津波高が幾つになるのかというようなことも確認を参考としてしています。
01:25:55	で、やはり距離の関係も波源の大きさと距離の関係もあってあまり敷地に影響が大きくないということは確認をしています。
01:26:03	原田さん今おっしゃられたのはさらにこの多分、線があるような多いところよりもさらに東側のアウターライズと言われ、アウターライズというか、
01:26:13	太平洋プレートのアウターライズというような領域のところの影響がどうかということかと思えます。で、
01:26:19	ちょっと規模をどこまで設定するかによるんですけども、今回 7.9 のマグニチュードでの規模で、
01:26:27	津波高これぐらいということなので、そこまで影響が大きいものではないのかなというふうに今お話を聞いた時点では、考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:21	はい。はい佐口ですけど、規制庁サービスですけど、ごめんなさい。関連して、私もそれをちょっとちらっと思ったの上で結局、
01:27:30	その地震、津波、
01:27:33	地震津波、津波に関しては、敷地周辺で、まず観測とかそういうのがされているのかどうか、っていうのちょっとわかれば教えてください。
01:27:49	公式には近くの御前崎港で、津波観測、とか潮位観測ですね、が行われてますので、その数字を 20、
01:27:59	27、
01:28:02	7、7 ページ、27 ページのところでは基本的には掲載させていただいているというところですよ。浜岡自体では津波観測というよりは取水槽の中での潮位観測みたいなのところあるんですけど直接概要で幾つかあっていうところをちょっと図っている。継続的に何か測ってるということはないので、
01:28:23	基本的には南海トラフは、南海トラフのプレート間地震は痕跡を書きますし、
01:28:29	他のものについては記録がある御前崎市のものを書いていると、ありものを書いているというような状況です。で、
01:28:36	先ほど 2009 年の話もちょっと前だけして幾つになってるのか、これを、
01:28:41	2004 年のものより小さいと思いますけれどもそれが幾つになってるのかっていうのを確認の上掲載させていただきたいと思います。
01:29:55	あとすいません規制庁鈴木ですけど今回補足。
01:29:59	これ特に有り体の方の集めたので、説明はしませんということでこれもザッとはもちろん読んでるし、後でも当然読むんですけど、
01:30:09	例えば
01:30:10	分岐断層ですね、なんかちょっと前回これがなかったんで、説明の時に、分岐断層とはどういうものがどういうものを選んでるかが若干あやふやだったところがあったんで、
01:30:22	ちょっとここだけ説明してもらっていいですか。補足説明資料使ってこれ多分、
01:30:26	大分前というかそんなに古くはないのかもしれないけど、
01:30:35	はい、中部電力の盛です。5 章の分岐断層の選定のところですかね。
01:30:41	はい。
01:30:43	42 ページに、検討の概要を掲載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:52	ちょっとこの部分を中心にどういうものが載っているかということをご説明させていただければよろしいでしょうか。
01:30:59	はい。衛藤。
01:31:01	検討概要のところですけど、南海トラフの分岐断層の評価方針で、その上で衛藤間瀬カイノ分岐断層の事例どういうものがあるのかというのを調査させていただいた上で、最後、選定の、
01:31:13	方法、方針というのをお示ししてるのが検討概要になります。
01:31:17	で、一番上の南海トラフの分岐断層の評価方針ということですけども、
01:31:23	この南海トラフで市場調査の結果から、外縁隆起体と呼ばれる高まりのトラフ側の斜面に分岐断層というのが確認されていると。
01:31:33	この分岐断層が、プレート間地震の時にも動いたというような知見もあると、いうこと。
01:31:40	あと、内閣府の巨大最大クラスのモデルの検討会でも、
01:31:46	分岐断層をモデル化したような評価が行われているというようなことから、二つ目の丸ですけども、
01:31:53	分岐断層は、プレート間地震の際に、プレート境界面の破壊に伴い自動的に破壊し、大きな滑りを生じさせ、その結果として、地形的高まり、顕著な地形的高まりを形成していると考えられる。
01:32:06	このような、プレート間地震に伴う分岐断層は、内陸地殻内地震の震源として考慮する活断層と比べて大きなすべりを生じさせる恐れがあるため、津波や地震動の評価において、
01:32:18	内陸地殻内地震の震源として考慮する活断層とは異なる検討が必要であると。
01:32:23	ことで、
01:32:25	世界の分岐断層の事例をまず調査しております。
01:32:29	で、付加体が発達しているようなところでは、今、事例としてアラスカの地震やスマトラ地震等を2ポツ目3ポツ目に書いておりますけれども、
01:32:39	特徴の違いはあるものの、南海トラフと同じように噴気なその陸側に外縁隆起体の顕著な地形的高まりが存在しているということは確認してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:50	それを踏まえて、一番下の分岐断層の選定というところで、分岐断層の大きな滑りによる地殻変動が累積することで、陸側傾斜の逆断層である。
01:33:01	分岐断層の陸側に外縁隆起帯等の顕著な地形的高まりが形成され、そのトラフ側に急崖が存在しているものと考えられるということで、
01:33:11	文献で分岐断層として指摘されているものというものと、あとは当社としても詳細な地形調査、音波探査調査による検討を加えて、
01:33:19	場合に行きたいとの件数の地形的高まりの、その外側トラフ側に、の急崖に位置しているような断層については、
01:33:27	プレート間地震に伴う分岐断層として選定をするというような方針にしてございます。
01:33:32	で、今言った内容か、43 ページから、
01:33:37	南海トラフの地形的特徴だったり分岐断層のに関する知見ということで、43 ページが、
01:33:46	海底地形や、自著調査によって分岐断層が確認されている事例。
01:33:50	44 ページが、津波断層の解析によって分岐断層が動いた可能性が指摘されているというようなもの。
01:33:58	45 ページが、実際に書いて掘削調査で、分岐断層がプレート間地震と同様に動いたのではないかというのが、推定されている事例。
01:34:09	46 ページが、
01:34:13	前回も区切るような、逆理事の流期待があって、
01:34:18	それも分岐断層によって形成されていると、というような知見、
01:34:23	47 ページが、それを踏まえた評価方針ということで、
01:34:29	先ほど
01:34:30	概要のところを読ませていただいたような、
01:34:33	プレート間地震に伴って発生するので、
01:34:36	普通の内陸地殻内地震とは異なる検討が必要であるというような評価方針を書いております。
01:34:42	その上で、48 ページから、世界の事例の調査と、
01:34:46	ということで、
01:34:49	今世界のマップに赤色と青色示しておりますけれども、
01:34:55	青色が付加体が発達しているようなところ。
01:34:58	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:00	そういうところで分岐断層が発達している可能性があるということで、そういうところの知見というのを調べたものになります。
01:35:08	49 ページが、事例の調査ということで、世界の沈み込み体の地域性。
01:35:16	50 ページがアラスカに分岐断層の事例ということで、
01:35:20	アラスカのところも、ちょっと見づらいんですけど、左側の
01:35:27	図ですね、
01:35:29	緑色で書いてあるような地形的高まりというところがあってその外側に分岐断層が発達している、破綻しているというような事例がございます。
01:35:40	51 ページがスマトラの事例、52 ページがチリ南部の事例ということで、
01:35:47	地域性はあるんですけど、53 ページのまとめ、
01:35:51	のように、
01:35:54	南海トラフと同様に分岐断層の上盤側に外縁隆起帯等の地形的高まりが存在していると。
01:36:01	ということで、54 ページ、選定方針としてそういうものを見つけていくというような選定方針にしています。
01:36:09	55 ページからが、実際の選定になりまして、まず、選定結果ということで、
01:36:17	どこに地形的高まりがあるのかということで、赤色、トラフ軸に平行な隆起体と。
01:36:24	オレンジ色で、甲斐本区切るような隆起体で、その外側に
01:36:30	存在している分岐断層と考えられるものを青色で設定しています。
01:36:39	56 ページからが、分岐断層、文献で指摘されている分岐断層としてどういうものがあるのかというのが、56 ページ、57 ページ。
01:36:49	58 ページで、顕著な高まりというのは、どういうものかというのが文献でもいろいろありますので、それを網羅すべて抽出してそれと敷地の位置関係から分岐断層を選定すると。
01:37:03	いうところが58 ページです。
01:37:06	59 ページが、実際の
01:37:11	検討に入っていきますと、
01:37:16	地図の中に、
01:37:18	柳北井とあとは、どういう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:37:21	地理的關係にあるのかということで、三角で、会だったり、階級だっ たりも、追記しています。
01:37:29	60 ページが、
01:37:33	3 次元的な DEM による下巻図、61 ページも、ちょっと角度を変えたも のになります。
01:37:39	で、それとの位置関係から 62 ページということで、
01:37:45	文献で指摘されてるものが基本的には、
01:37:50	赤色やオレンジ色で示しているような隆起体の外側に分布している分岐 断層だというふうに考えています。
01:37:58	一部、ちょっと細かい話になりますけれども 3 個目の丸ですね、
01:38:06	御前崎対何円の断層及び工夫 14 断層というのが、
01:38:12	分岐断層されてる東海断層系の近くにありまして、そこも
01:38:18	御前崎堆のトラフ側の急崖に位置する陸側斜面の逆断層になっていま すので、そちらも当社の評価では、東海断層系に含めて分岐断層として 扱っております。
01:38:32	あと 63 ページからちょっと補足的になりますけども文献でどういう期 待が言われているのだからってということが、掲載し、63、64 ページで掲 載しております。
01:38:44	65 ページが、本編にも載せております、まとめの表。
01:38:49	で、
01:38:51	66 ページはちょっと、
01:38:52	黄色中ですが藤川断層体ということで、プレート間地震の中に、活断層 を含めているというような、
01:38:58	南海トラフの巨大地震モデル検討会の
01:39:02	検討内容で 67 ページが、先ほど検討概要として紹介しましたまとめに なります。
01:39:08	68 ページからが、こちらの本編に掲載していますけども、海域の活断層 における評価方針ということで津波評価においてどういうふうに評価す るのかと。
01:39:19	というようなところをまとめております。
01:39:22	で、基本的には、分岐断層と、内陸地殻内地震として考慮する断層とい うふうに分けてはいるんですけどもどちらもプレート間地震との連動と いうのは考慮していると。
01:39:32	いうところです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:33	で、一番初めにお話ありましたけれども地震動評価とどう違うのか同じなのかというところについてなんです基本的には地震動評価も、
01:39:42	分岐断層として考慮するものはプレート間地震との連動を考えていると、いうことと、右側の地殻内地震とところする活断層についても、慎重に考慮するというので、
01:39:52	プレート間地震との連動を考慮した評価というのをやっていますので、
01:39:57	ちょっと
01:39:57	と審査ファイルの体系も違うので、津波の組み合わせの中では考慮していないんですけれども、いずれも地震の評価の中で、当間津波評価の中でも、同じように連動交渉した評価をやっております。
01:40:09	で、69 ページから 70、
01:40:13	1 ページまでが、は、地震動評価でどういうふうに考慮しているのかという反映方法を掲載しております。
01:40:21	ちょっとここまた、1 枚にまとめたものを今後ちょっとご用意させていただきますけれども、69 ページ、
01:40:29	70 ページで内陸地殻内地震が、プレート境界とどういうふうに不確かさとして連動破壊伝播を考慮するかというようなスライド。
01:40:38	71 ページが、分岐断層としてどういうふうに地震動評価をやっているのかというようなスライドの債権を持ってきております。すみません、駆け足ですが、以上になります。
01:40:50	は、はい、すみません。
01:40:53	いろんな形でありありがとうございました。
01:40:55	ちょっとすみません、画像だけ説明聞かせてください。教えてください。55 ページかな。
01:41:02	最後これ結果があって文献調査で、707080401。
01:41:11	を選定しました。
01:41:14	と言っててあと詳細な地形調査と音波探査による検討。
01:41:18	よって、
01:41:19	これが⑦は、
01:41:23	かぶるのかな、何かこう、それぞれ独立というか何か重複しているものとか、
01:41:31	そこら辺の関係ってどうなんですかね。文献は文献、詳細な地形調査音波探査による検討、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:41:38	加えとっていうのは何か文献では、
01:41:41	何か関係ではないか言及があるんだけど判然としないんでこれ加えているのかとか、
01:41:47	ちょっとその関係性を教えてもらっていいですかね。
01:41:52	11 府 14 はだから文献の中で全く出てこないわけですよ。
01:42:03	力の岩瀬ですちょっとこの図だとわかりにくいんですけども、御前崎、
01:42:09	大南への断層及び F14 断層と言っているものは何かといいますと、もともと御前崎海脚西部の断層体を評価してるときに、あの南側、トラフ側をどこまで評価するかって言ってる時にちょっと安全側に入れてた。
01:42:24	部分になりますこれによってちょっと御前崎海脚西部が長くなってるんですけども、
01:42:29	一方でこの分岐断層として東海断層系があるので、その単点どこなんだっていう話になりまして、
01:42:38	それを評価していこうとすると、こういうふうに、今盛は、説明したように、
01:42:45	急崖をめどにやっぱり単点をされるのがいいんじゃないかを見ていったときに、御前崎海脚西部の方に、
01:42:54	から見たら、そっちとしての単点の意味では安全側に入れてるんですけども、当該断層系の方を、どこまで敷地に近いところまで公表するのかって言ったときに、こっちにも入れといた方がいいだろうとって入れた部分になります。
01:43:08	ちょっと説明図が、今回の抜粋だとその部分が入ってないのでわかりにくくて申しわけないんですけども、
01:43:15	今そういった経緯でこういう説明が各書いているということ。
01:43:20	以上です。
01:43:22	わかりました。ここも追加された部分はわかりました。やるんで、ちょっと詳細な地形調査音波探査による検討というところで、これはもうすでに上で選ばれているもの。
01:43:34	何か文献で言われてるものについて、何かこちらの観点から見ても、どうだという、そういうものではないんですよ。ですから、不電力の岩瀬です。例えば、④とかね。
01:43:46	基本的には今言った同 59 ページですね、ここの赤いところの、その中に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:54	そうかい断層系とかがあるに入っはいるんですけども、この赤いところとかオレンジのところ2の断層を見ましようっていう意味においては、ある意味文献で指摘されている断層ですので、
01:44:05	文献の断層で考慮してますので基本的に全部考慮してるんですけども、さらに細かい話で、しっかり地形も見て確認して、単点も押さえていましようと言ってる中で今言われてたところの説明が、
01:44:20	出ているという状態です。ちょっとこの辺、両方とも文系も含めて地形も含めて、しっかり説明する中でわかりにくくなって申し訳ないんですけども、そういった形で最終的に65ページのように、
01:44:34	分岐断層ってこれだよねという形で、選んだと、選んだものを結局文献で、
01:44:41	何らか指摘されている断層になりますので、
01:44:45	さっき言ってたドラフに平行なやつか。
01:44:48	トラフに対して、そこを震源域を区切るような逆L字の隆起体の断層のどれかが選ばれていますので、基本的には文献で指摘されているものになる。
01:45:03	ああなるほど、ありがとうございます。
01:45:05	今ちょっと同じく例えば、4の前田海脚東部の断層牧ノ原山稜の断層っていうのは例えば
01:45:15	音波探査とか地形調査とかでいうと、例えば60とか61の、
01:45:21	町を見取り図言うと、どんな感じなんですかね議員菅鳥井と。
01:45:26	この辺り、何かこれちょっとまた
01:45:29	中部電力の岩瀬です見ていただくと60ページがわかりやすいかと思うんですけども、
01:45:37	これトラフ側から敷地の方を見ている図になりますが、これの声を、色になってるところがトラフなので、このトラフの斜面を見ているという意味でこの平行方向、
01:45:50	にいてるところはトラフに平行な街の期待として見ているところ。
01:45:56	それに対して、今、下那須のすとか御前崎海脚と書いてるところが少し高まっていると思うんですが、これはいわゆる学部逆L字野田柳北井とって、
01:46:06	トラフ軸と直交方向に震源域を区切るように、隆起しているところでこれの駿河湾側、
01:46:15	この図でいうと右側のところの崖が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:46:18	藤断層が抜けてるところ、
01:46:21	この逆断層が動くことでこの御前崎海脚とか前崎台地が隆起している。
01:46:28	ていうふうに評価をして断層を置いているところです。このあたり、当然、全部じゃないですけども、反射法探査を、うち 10 キロ程度見えるような大深度のものをやっていますので、
01:46:40	一部については断層があることを直接反射法で確認して、
01:46:45	そういった形になってます。
01:46:48	はい。1 度ですね御前崎海脚っていうこ三角があってこの辺りがちょっと高まったんですね、抜けてるのはここから。
01:46:57	崖というかその窪内を挟んだその反対側ですか。
01:47:02	こっちが抜けてるんですね。
01:47:07	瀬野。
01:47:08	佃先生の
01:47:17	87、ごめんなさい。
01:47:21	本編の 87 ページ。
01:47:25	2 反射面、
01:47:26	が載ってまして、
01:47:29	これね。はいはい。ちょうど。
01:47:33	ライン中、
01:47:35	のところに、我々が東部の断層体について、断層反射でとらえてるところが載ってますけれども、これの藤断層と書いてあるところのところに、
01:47:47	御前崎海脚が急崖として高まりが見えると。
01:47:51	これは中谷神、高間李と言ってるのは矢印がありますよね 1800。
01:47:59	矢印が書いて、オレンジ色の矢印が書いてあるところは、断層を引いてる辺り引いてるあたりなので、あんまり高まりと言ってるのはちょっと何ですかね背斜が書いてあると思うんですけどこれ、字ちっちゃいね。
01:48:12	SIS は、30 代あたり、
01:48:18	ぐらいが多分御前崎海嶺とさっきの補 3 あたりになるとそう舗装。
01:48:26	補足で言う 6 ページのこの御前崎海脚って言ってるところの、
01:48:31	ちょっと橋野局となって、
01:48:37	うん。
01:48:38	縮尺がそうなる。
01:48:40	ふうん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:53	両者の若干違うから、パッとイメージが湧かなかったわけですか。なるほど。
01:49:00	ちょっと通常の活断層でできた地形に比べると、ちょっと反射だけだとわかりにくいですが、鳥瞰図で見ていただいたようにかなり顕著な急崖になってますので、
01:49:18	これだから、補足の 60 ページ生まれだけか、海脚のトイメンみたいなことを 1 回
01:49:25	真っ青に下がって反対側が、
01:49:30	これは、今の矢印、本編 87 自由矢印みたいな辺りなんですか。
01:49:54	いやいや、
01:49:57	そうです。今ご指摘いただいた場所に当たります。先ほどの、
01:50:04	本編のこの 87 ページでご説明させていただきましたけれども、
01:50:10	先ほど上の図の方で、断面図で、コアのご説明しましたが、下の方を見ていただくと、その地形的な高まりって比較的わかりやすいかなと思うんですが、
01:50:20	右側に断層線が書いてあるところが、これが御前崎海脚東部の断層体になりましてその左側にこういうふうに、地形の高まりが大きく見えている。
01:50:30	という形になります。
01:50:33	わかりました。すいませんそれぞれのところでどの辺のあたりのことを指してるのかはイメージできました。
01:50:40	気づいても李ですねもともと文献で言われているようなものも、
01:50:46	結構はからずもなのかこういう音波探査っていうところで、どの辺りにあるかっちゃうのも押さえて、
01:50:54	ここは基本的に文献でと言っている 7841 というものは結局音波探査とかの結果の方からも、
01:51:04	そこは、
01:51:05	何か矛盾がないかっちゃうのは見れているっていうそういうことなんですかね。
01:51:11	はあ、すみませんありがとうございます。
01:51:28	はい、ほか。
01:51:37	規制庁の西木です。ちょっとその、ちょっと脱線ぎみな話かもしれないんですけど、今、本編の 87 ページのところで、
01:51:47	御前崎と牧ノ原、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:51:49	南里尾野断層ってことで示されてるところあるんですけども、
01:51:55	なんかこういった方向と、いわゆる実質で言うH系断層の方向とかまあ、どっちかと似ているような方向の気もしつつ、あとこれって、
01:52:06	分岐断層なんでいわゆる、
01:52:08	十二、三万年後にまで活動、
01:52:12	変異してるような気もするんですがそれって、いわゆるその御社が今、いろいろ考えて地質の方で考えてる古谷層のたまってるところとの関係とかどういうふうになってるのかそういう考察とか、
01:52:22	今地質の話じゃないんであれですけども、そういったことって検討されてるのかなとちょっとふと思ったのでちょっと
01:52:29	やってるのかやってないのか、ちょっとお聞かせいただきたいんですけども。
01:52:40	中部電力の小川です。今ご質問いただいた観点でいきますと、この海脚東部の断層体、これと、前崎の地形的な高まりに関しては、審査会合の中でもご説明をさせていただいています。
01:52:55	この海脚東部の断層体は、L字型にこういうふうに入ってきていますので、そういう観点では、御前崎の駿河湾側に入ってくると。
01:53:06	藤三崎のホ北東側、
01:53:11	2、海岸線に平行な形。
01:53:14	に、軸というのか、断層線が来ますので、そこが高まりを持って、御前崎の台地が上がってきている。
01:53:23	という観点で、考察をしています。
01:53:27	だから南西側への経路を、
01:53:32	北東側が上がることによって、南西側に傾動して、
01:53:37	そういう地形をつくって、
01:53:42	あ、すいません規制庁観点からすると、Hとの関連は直接ないというふうにまず考えてます。
01:53:51	うん、うんそうそう、わかりましたということはあれですよえいわゆるその杉山さんとかが言っている。
01:53:58	喜多の方が古屋層とかの、
01:54:02	基底面が高くって、
01:54:04	御前崎のほうがいってというのはこれが基本、コントロールしているというふうに御社も考えているということですのでよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:54:11	はい。中部電力浜野です。おっしゃる通りで、Hの分布範囲を前からご説明してる通り、東西で、3キロとか、南北でもそれぐらいの範囲ですので、少しこう、
01:54:23	いった全体の中の一部っていうわけではなくて褶曲が起きた後に、
01:54:31	正断層として発生しているというふうに認識してます。
01:54:36	規制庁の一色です。この辺のスケールなんかその規模感とかこういうところに合わせてくるとよりわかり、パッと自分でもわかるかなと思ったんでちょっと聞いた次第ですありがとうございます。
01:54:56	はい、土佐とそろそろすいません、菅がなからですけども、
01:55:01	これ何か、
01:55:03	国井
01:55:04	有井増井しかよろしいですかそうするとちょっとあれだな。大友から少し、元の方ですね割とここを修正しましょうとかここちょっと追加しますっていうのがあったんでその点何か確認しておくことはありますか。
01:55:18	今の流れでこの辺少し説明に加えておいた方がよかろうとか。
01:55:24	何かその観点で、
01:55:26	はい。中部電力浜野です。今日ご確認いただいた中でまず、私どもとして今回お示しさせていただいた追加資料ということで、
01:55:37	金さんの策定の評価方針に非常、わかりやすくというところは織り込ませていただきつつ、重要だと長井調整官からお話あった時、地震動と津波で、
01:55:51	どういうその組み合わせの考え方はどこが一緒にどこが、それぞれ特性が違うんで違うかというところのリストとは、折込みをさしていただきたいと。
01:56:02	思っております。で、
01:56:03	あとは、ちょっと梶浦フィルターのところの扱いも少し、ファイナルなんで、ガイド上にあるから、入れようというような考えでしたのでそこを、
01:56:14	入れる必要性はないと思ってるの大津波設計の時に、
01:56:18	よりその裕度な町としてどうかっていう時の議論で、またそのときに使えばよくて今回、
01:56:26	ハザードを決定していく中に必要性はないので、
01:56:29	この辺りは、ケースだけかなというふうに思っております。圧倒は、
01:56:37	何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:56:39	大きいのは、表の話かなと思ってますので、
01:56:50	ちょっともう1回最終点検をさせていただくということで、17はやっぱり地震と津波の考え方のところの整理を加えさせていただくというところですか。
01:57:02	量としては、そんな、何枚も作るわけじゃなくて1杯の中でしっかりわかりやすく整理するというので、迅速にそこを対応させていただきたいと思っております。
01:57:15	はい、わかりました。
01:57:17	ではそちらとしても確認。
01:57:19	なければまずこれは資料の方修正をして、
01:57:24	ちょっと場合によってはもしかしたら追加新規で追加する部分とか最後確認多分地震との関連性の部分とか、ちょっとそこは考えますが、まず、資料の方を修正して、
01:57:36	また準備ができたタイミングでヒアリングを申し込んでいただくと。
01:57:40	やはりちょっとタイミングで、どうするかっていうところで、
01:57:44	考えたいと思うんですけど、今の
01:57:47	追加っていったってそんなどのぐらい時間かかりそうですか。
01:57:52	めどとしてちょっと次ちょっと今地震動のヒアリングちょっと時間がないなと思いながらやってるので、少しその辺はまた準備の状況を踏まえてですね、当然ゴールデンウィーク明け時には用意できてるようにはしますんで作業はできそうな修正だと、そういうことですかね。そうですね。はい。
01:58:11	作りましてもわからない辺りははい、状況を見ながら聞かせてもらいます。はい。
01:58:17	ではすみません。
01:58:21	土岐清側の方は、ちょっと時間がほぼほぼ、
01:58:27	切れている。
01:58:28	ですが、もし可能であれば、説明10分ほどですので、ちょっと説明だけさせていただけるというSIMMER会合で指摘した部分の大きなところ、そこら辺の考え方ちょっとだけじゃそこだけすいません。
01:58:43	簡単で結構ですけど。
01:58:46	どうします。
01:58:50	はい。崎田。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:58:54	すいませんちょっと今これすいませんスケジュールということで。はい。はい。中部電力天野でございます。スケジュールの方ですけど、右肩にロクロク R00 で、
01:59:06	提出さしていただいております。
01:59:10	3 ページ。
01:59:12	4 ページあたりは赤い部分が、前回、
01:59:15	から変わってますと、いうところですが、特に大きいのは 4 ページで、実施による津波というのと策定方針これは先ほどご説明さした、戸部氏資料で説明ということにさせていただいてます。
01:59:30	で、5 ページが、工程として記載させていただいております。ポイントとしましてはまず、基準地震動については震源特定せずを、
01:59:42	前回のご指摘を
01:59:44	早急に特に顕著な増幅を考慮するというスタンスで資料化しておりますのでこちらを審査会合にかけていただいた後に、
01:59:54	基準地震動の方の審査に入りたいと、いうふうに考えております。
01:59:58	基準津波は今日ご説明させていただいた通りで審査基準津波策定の全体方針、特に組み合わせのところを冒頭にご説明させていただいた上でそこに、
02:00:10	組み合わせるべきか、海域の活断層と、大小関係を比較する海洋プレート内地震も併せてご説明をするというスタンスで記載させていただいています。
02:00:21	で、おそらくそこで、コメント等を受けますんでこれは最後の基準津波の津波の組み合わせの中で織り込んで回答をさせていただくと。
02:00:32	その間に、プレート間地震の津波のまとめ、或いは、もう審査会後 3 回やっていただいている地震以外の津波のコメント回答をして、そこでもし
02:00:44	コメントございましたこれも最後のところで受けまして基準津波の策定の中で、コメント回答施設最終の
02:00:53	評価結果というのをご説明させていただくとこれ、1 回で書いてますが、破線で書いてるのが前回と同様で、あとは、そこでコメントを受けたものを回答していくというふうに、
02:01:05	記載しているつもりでございます。
02:01:07	衛藤さんとか夏ぐらいまでに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:01:11	基準地震動をと、津波の議論を進めさせていただいてプラント班の審査につなげていきたいというのが当社の思いでございます。
02:01:21	千田総研につきましては今、調査結果、整理しておりますゴールデンウィーク明けぐらいから、自動状況、結果をどう考えて、当初のようなもくろみに対して結果が、
02:01:33	伴ってきたのか、していないのかというところを再度整理した上で1度、ご説明をさせていただくというふうな流れで考えています。説明は以上です。
02:02:02	これ、
02:02:04	ところの今プレ津波の方を今、何で基本方針のお話を、
02:02:10	井川二階に聞いて、これをまず真っ先、
02:02:14	に、会合としては、
02:02:18	特定せずの方は資料を出て行って、とはいえこちらも、
02:02:23	津波の一旦全体方針後に次にて、
02:02:29	津波の方は全体少し組み合わせの考え方まで含めてある程度、介護できるようにしていけばそのあとのものは、
02:02:38	プレート間まとめだったり、個別のものだと。
02:02:41	かけてて、
02:02:43	はい。決めるとしては基準地震の方もあまり遅くならないタイミングで決めたいという、まあ順番的にはですけどね。
02:02:52	あとそのちょっと追加調査の方が、結局、何か1ヶ月ぐらいたつとだんだん濃いこれが1ヶ月ぐらいなかなかずると来ているような、
02:03:02	そうするんですけど、一応ここは、
02:03:06	まだあれなんですかね今この状況だと、少しその論理がどうなるのかとか、
02:03:11	そこら辺もまだ、
02:03:13	不明。
02:03:16	前回審査会合でご説明させていただいた通りでもくろみを持って調査を進めてきたというところですが、やはり今までと同様で、括弧から
02:03:29	例えば火山灰であったり、花粉のすごく年代感がはっきりしたようなものが、
02:03:36	取れていないというところが現状です、そのあたりをどう考えた上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:03:43	今の評価をどうするかということと、当然並行して進めていた他の調査も含めて、どういう
02:03:53	ローリングするののかというところの整理をしていますんでそれができ次第ご報告に行きたいなと思っておりますまだちょっとデータ整理で、要は、
02:04:03	決定的にこれで、
02:04:05	もくろみ通り、時代間、年代感が言えましたっていうのはない。
02:04:11	というところなので、論理構成としては、どうそこをモディファイするのかっていうようなところをちょっと考えているところでございます。
02:04:24	はい。ちょっと等、地質の方でどのタイミングで出てくるか、もの次第など。
02:04:31	調査次第な部分もあるので、ある程度資料も出てきていて、そういうものは地震津波、こちらの方をちょっと今、一応御社としてはこういう、
02:04:42	順番でかけて地震動の方は何で3月時点の想定からあんまり遅く後ろに行かないように、津波については、
02:04:52	今先に全体補助がセットされて、進捗もそもそも差がありますけども、
02:04:58	地震動できるだけ早くこちらもあれおくらせずがいいというのは、そこは御社の希望でなんですかね。
02:05:05	はい。
02:05:06	昨年11月に審査スケジュールで審査会合をやっていただきまして、やはり我々としましては、昨年、トップ会談度9本で、
02:05:18	ご説明させていただいたようにプラント班の審査、何とか再開いただきたいという中で地震動と津波っていうのが、Critical ンであろうと。
02:05:28	いうところなんですここをまず固めに行くっていうのを最優先で動いているところでございます。一方で、愛知断層系、まだなかなかデータ出てませんのでここは切り離して、
02:05:41	しっかり私たち対応していきますというところも、11月の審査会合の中でも、ご理解いただいていると思っておりますんでここも、緩めることなく対応していきますというのが、
02:05:51	ここの、今回し、もしお示ししてる工程表の意図でございます。
02:06:00	はい。御社なりの規模を考えは、はい。
02:06:06	これは何かスケジュールで、
02:06:09	あそこ、
02:06:20	規制庁名倉です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:06:25	そういうのはちょっと地質はあんまりよく見えてないんだけど、基準津波が一番ちょっと、
02:06:33	スケジュールとして記載してる内容に対して中身が非常に論点がたくさんあってたりとかなあという、印象なんですけど。
02:06:41	ここは、説明のところで言っていましたけど、
02:06:46	基準津波、津波の組み合わせ、
02:06:50	というところですね、これちょっと聞きたかったのは基準津波津波の組み合わせでってのは津波の組み合わせ。
02:06:58	と基準津波をセットにしたいとか、そういうわけじゃなくて、まずは津波の組み合わせをこれ、
02:07:05	変な内容を示すっていう理解でよろしいですねこれセットではないですよね、基準津波の策定と、津波の組み合わせは、
02:07:11	別々ですよ。
02:07:13	中部電力津波の組み合わせが最も影響が大きかったものが最後基準。
02:07:20	津波になるということ。
02:07:22	の理解だったんですけど先行の審査を見てると、
02:07:26	当然もしそれがプレート間地震が最大の影響であるということであればそちらが基準津波になりますけど、組み合わせた結果が増えた感より大きければ、
02:07:37	それが、
02:07:39	基準津波になるのかなと。
02:07:41	思ってます。
02:07:43	すみません期中規制庁の名倉ですけど、例えば泊とかでやってると、もう基準津波の策定は津波の組み合わせをまずちゃんとやってから、基準津波の策定に行きますと。
02:07:55	ちゃんと審議が終わって決まったら、もう1回整理し直してやりますっていう話なんだけど、これ一緒にやったって結局、
02:08:03	津波の組み合わせ、多分1回じゃ終わらないので、それを繰り返して基準津波は結局もう1回、
02:08:12	全体を整理して、最終的にこれ策定っていうふうな形になると思うんで、ちょっとこれが私違和感があって、
02:08:21	何で基準津波で津波の組み合わせのDの会合で基準津波の策定すべてが終わるんだ。
02:08:29	そのプロセスが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:08:30	実はちょっと何か稚拙なんじゃないかなって思っていて、そういう意味でプロセスってこれ、もう少し、
02:08:39	何て言うのかな。
02:08:40	泊とかで行くと細かくいろいろ緻密にやってるじゃないですか。これが終わったらこれやるとか、そこら辺の話が、どうもここら辺ちょっと見えないんですけどね。
02:08:51	おそらく、
02:08:53	以前の会合で、
02:08:57	部長の
02:08:59	部長の方から、これもちゃんとプロセスっていうか、今後のスケジュールとか工程を示してくれて言ったのは、このところが中身が粗いから。
02:09:11	何をどういうふうに順序で示すのかっていうところをちゃんと、
02:09:16	全然よくやってくれ。
02:09:18	スケジュールで示してくれていうことだったんじゃないかなんかと思っていて、そういう意味でこのスケジュールって、何か大きくくり、
02:09:26	何かやろうとしてんだけどこれって本当に、
02:09:29	プロセスとして、
02:09:31	適切なんですか。
02:09:33	ていうところが、すみません私ちょっとこれ見ても大変疑問だったんですけど。いえ、ずっと前から半年1年ずっと前から変わらないんですけどね。
02:09:41	このスケジュールって、
02:09:43	はい、中部電力天野でございます泊の事情は、当然、
02:09:48	してました加藤泊の場合はその波源ごとの細かい、
02:09:53	この地すべりとこれを多数評価を持ってきますっていうような今日私どもで説明したプレート間地震の、例えば基準断層モデル1-1とS26、
02:10:08	海脚セーフを出すのをいつに説明して、その次のやつは、次回っていうような書き方では私どもはそこを全部パッケージで出すっていう意味で、なんて言うんでしょうそこまで、
02:10:23	粗々に書いているわけではないんですけど、名倉調整官おっしゃられるとちょっと気津波の組み合わせというところをまずしっかりご説明して、最後、単体で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:10:35	そのものが影響が大きいのか組み合わせたのが大きいのかという意味では、そこ必要ですので、ちょっとここは、
02:10:42	まとめて書き過ぎてわかりにくいのでしっかりわかるようにしたいと思いますが、ちょっと泊ほど細かく書く、いやちょっと、規制庁名倉ですけど。
02:10:52	少なくとも基準地震の基準津波ってこの後は
02:10:56	超過確率とかハザードの評価ありますよね。
02:10:59	だからそういうプロセスも書いてないんじゃないですか。何も、すみません、私が言ってんのは、
02:11:04	どういうプロセスに分けて説明をしようとしてるのかっていうのは、これ1回で全部終わるつもりなんですか。
02:11:11	そうじゃないでしょ。
02:11:13	だから、少なくともプロセスを下1回変えてくれないと議論になりませんよと、こちらの方で部長が言った。
02:11:21	スケジュールプロセスとスケジュールを明らかにしろっていうコメントに対して、
02:11:26	議論にならないので今はないようだ。
02:11:29	はい。そういう意味では話をして、はい。中部電力浜野でございます。すみませんちょっと誤解をしてございましたが、
02:11:38	今日の本編資料でいくところ2ページに、
02:11:41	どんな説明をするかっていうのを書いてまして。
02:11:46	ここで言うところスケジュールで記載させていただいたのは、下から二つ目の基準津波の策定と、
02:11:54	津波発生のお組み合わせここは、合体させて書いてしまってはいて、かつ、今、
02:12:02	名倉さんからお話あったそのスライドあって安全性評価だとか超過確率っていうのは、ハザード要は対津波設計をやっていく前、
02:12:13	ハザードを決めるっていうところ。
02:12:15	までしか書いてなくてこういった超過確率だとかは記載してないのでちょっと全体プロセスはしっかり、記載させていただきたいと思います。
02:12:25	ちょっとすみませんそれがわかりづらいというのは、おっしゃる通りで、まずプラント班に持っていくには、
02:12:33	ハザードの、要は津波の高さを決めるところ。
02:12:36	一番ということで、後ろの方省略。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:41	そこもしっかり記載させていただきたいと思います。
02:12:45	城名倉です。
02:12:46	そういう意味で本編資料2ページ、
02:12:52	ところ、
02:12:53	当スケジュールっていうのは対応関係。
02:12:56	がちゃんとわかるようにしないと、何、どこまでをいつまでに、どの内容をいつまでにやろうとしているのか、目標にしているのか。
02:13:06	ていうのが
02:13:08	わからないということなので、そこんところももうそろそろ明らかにしていただきたい。
02:13:14	なあと。それは基準地震動基準津波も、
02:13:17	そうですし、
02:13:18	あと地質のところも、
02:13:20	それは、よりそうなるかもしれないですけど今のところ、気にしているのは御社が、
02:13:27	そのプラント側の検討のきっかけにするために基準地震動の策定、基準津波策定っていうのをどこまでを、
02:13:36	目標にしているのか、いつまでを目標にしてるのか。
02:13:40	てっていうのがちょっとまずわからないと議論にならない。その内容がわかりにくい。いやこんなでできるのかとかそういう議論は、それをちゃんと示してもらったときに議論できることなるんですって。
02:13:52	それをちょっと、
02:13:53	スケジュールを示して欲しい。で、そのスケジュールっていうのは会合これ出さないよ。
02:14:00	変わってますよねスケジュールは、これだから次回会合このスケジュール出すつもりという理解でよろしいですか。
02:14:07	はい、友野ですはい。次回会合であわせてご説明する予定で提出はさせていただきますいておりますが、ちょっと
02:14:15	今の名倉さんのお花小、
02:14:18	受けましてちょっと足りないので修正をさせていただきたいと考えております。
02:14:41	はい。
02:14:43	他よろしいですかそちらからも各区、そちらから、
02:14:47	修正しますという確認はないんですかねはい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:14:50	時間少し超過しましたがけれども、以上で、すいません今日、
02:14:54	ヒアリングの方は、
02:14:56	給料、
02:15:00	地震の無理ですか。
02:15:03	いや、
02:15:05	はい、では時間少し過ぎましたが以上で、ヒアリングの方を終了します。お疲れ様でした。
02:15:12	明日、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。